

第二十四回帝國議會
衆議院
監獄法案外四件委員(委員中特別調查委員)

會議錄(速記)第六回

會議

明治四十一年三月七日午前十時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

磯部 四郎君

阿部 德三郎君

小河 源一君

望月 長夫君

花井 卓藏君

谷澤 龍藏君

立川 雲平君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官法學博士 河村讓三郎君

司法省監獄局長 小山 溫君

司法省監獄事務官 小川滋次郎君

司法省參事官 豐島 直通君

大藏書記官 菅原 通敬君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

監獄法案

刑法施行法案

印紙犯罪處罰法案

○委員長(谷澤龍藏君) 昨日ニ引續キマシテ委員會ヲ開會シマス——第八章衛生及ヒ醫療

○望月長夫君 昨日夢中ニ濟シテシマッタデスガ、第三十五條第一ツ同テ置キタ

イ、是ハドツ道又問フ場所ハアリマスガ、第三十五條「刑事被告人ニハ糧食ノ自辨ヲ許スコトヲ得」殊更ニ「コトヲ得」ト云フコトニ書キ改メラレタ趣意ガ同ヒタイデス、舊監獄則ノ第二十八條ノ三項ニ「懲治人刑事被告人ニシテ糧食ヲ自辨セント請フトキハ之ヲ許ス」トアル、必ズ許スト云フ意味ニ書イテアリマス、今度ノ殊更ニ許スコトヲ得ト書

イテアル、全體刑事被告人ヲ拘束スルコトハ刑ノ執行デナイ、犯罪ノ續行ヲ防ギ、罪證ノ埋滅ヲ防グノ目的デアル、然ルニ刑事被告人ニシテ糧食ヲ自辨セント請フテモ之ヲ許サナイ權能ヲ、典獄ニ保留サレタ趣意ハ如何デアリマスガ、尙今度ノ監獄則デハ五十九條六十條、刑事被告人ニ對スル懲罰ガ嚴重ニ規定サレテ、待遇ガ從前ヨリ嚴酷デアル、特ニ三十五條ト調和ニ付テ疑ヲ起スノハ、六十條ニ於テ糧食自辨ヲ十五日停止スルコトヲ懲罰トシテ規定サレテアル、然ルニ糧食自辨ガ必ズ許サルベキモノデアラナラバ、懲罰ノ趣意モ立ツガ、一方デ許スモ許サナイモ勝手トスルト、此懲罰トシ

タ趣意モ分ラナイ、ソレデ三十五條糧食ノ自辨ヲ拒否スルノ權利ヲ典獄ニ與ヘラレタ趣意ハドウ云フ譯デアルカ、又特ニ斯様ニセバナラナイ必要ハドウコニアルノデアルカ、其點ヲ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 御答致シマス、現行監獄則デハ一般ニ許スコトニナツテ居リマス、併ナガラ實際ハ多少ノ制限ガアル、例ヘバ流行病ノトキハ之ヲ禁止スルコトガ出來マス、然ルニ本法ハサウ云フコトヲ施行細則ニ規定スルコトニナツテ居リマスカラ、ソレヲ豫想シテ禁止スル場合ガアルタメニ、此處ニ唯許スト書放シテハ如何ナ

ル場合デモ許サネバナラスヤウニナリマス、尙又斯ウ書イテハアリマスガ、實際ハ特ニ自辨ヲ許スコトヲ本則トシテ、總テ之ヲ許ス精神デアルノデアリマス、併シ實際ヲ申シマスルト、將來分房制ガ行ハレマスレバ兎モ角モデスガ、今日ノ現況デハ一ツノ監房ニ三人五人ト一緒ニ入レテアルノデアアル、其中ノ甲モ乙モ自辨ヲスルト、丙モ自辨ヲシタクナクトモ、又金ガ無クモ、極メテ貧窮ナ者デモ、他ノ甲乙ノ者ガ自辨ヲスルト自辨ガシタクナル、自辨シナイト不面目ナヤウナ考カラシテ、僅カシカナ金ヲ以テ自辨食ノ費用ニ充テルトカ、或ハ親族ニ頼シテ金ヲ差入レサセテ、ソレヲ此費用ニ充テルヤウナ弊モ隨分アルノデス、サウ云フコトヲ司獄官トシテハ、監獄ニ於テモ十分ナ手當ヲシテアルノデスカラ、成ルベク金ヲ空費サセルコトヲ避ケル必要モアリマスカラ、サウ云フ場合ハ本人ニ說諭ヲシテ、自辨セズニ監獄ノ糧食ヲ満足セヨト說諭スル方ガ、本人ノ利益ニナルノデアリマス、其外許スコトヲ得トナツテ居リマスルト、自辨ニ付テ制限ヲ設ケルコトガ出來ル、分量モ種類モ思ヒノ儘ニ自辨サセルコトガ出來ルヤウデアッデハ困リマスカラ、相當ノ食物種類分量ヲ制限スル必要ガアリマス、サウ云フ規定モ施行細則デ極メルコトガ、此處デ斯ウ云フ規定ニナツテ居ルト出來ルノデアリマス、實際ハ監獄ノ經濟カラ云ツテモ自辨シテ費タ方ガ宜シイノデスカラ、許ス精神デアリマス

○望月長夫君 然ラバ簡單ニ御尋致シマス、第三十五條ハ糧食ノ自辨ヲ許スノガ原則デアルカ、將タ許サナイガ原則デスカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 被告ニ付テハ許スノガ原則ニナツテ居ル考デアリマス

○望月長夫君 先日モ似寄ツタ法條デヤカマシイ說ガアッタノデスガ、第三十五條ノヤウニ刑事被告人ニ糧食ノ自辨ヲ許スコトヲ得ト斯様ニ書カレタトキニ、今政府委員ノ御説明ノヤウニ許スト云フ半面ノ方ガ原則デアッデ許サナイ方ガ變則デアルト云フヤウナ書方ヲシテ立法例ガ是迄ニモアリマスガ、糧食ノ自辨ヲ許ス、但必要ノ場合ニハ之ヲ制限スルコトヲ得ト書クノガ普通デアアル、ソレデ原則ト變則ト倒ニ書イテアルト、從來ノ法律ノ文例カラ云ツテモサウハ讀メナイノデアリマスガ、斯ウ云フ書方ヲシタ事例ガ他ニアリマスカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 元來ハ自辨セシムトマデ書カネバナラヌヤウニ思ヒマスガ、兎ニ角本則トシテハ國權ヲ以テ監獄ニ拘禁スル以上ハ、監獄カラ給養ヲ與ヘルノガ本則デアリマス、日本監獄ノ沿革カラ云ヘバ、以前ハ刑事被告人ノミナラズ、囚人ニシテモ受刑者ニ至ルマデ、糧食ハ自辨サセルノガ本則ニナツタ時代デアアル、是ハ單リ日本ノミナラズ外國ニ於テモサウ云フ沿革ヲ經タノデアリマスガ、併シ私共ハ苟モ強制シテ監獄ニ入レル以上ハ之ニ相當ノ給養ヲ國家ガ與ヘルノガ本則デナケレバナラス、併シ刑事被告人ニ對シテ、自辨ノ途ガ開ケテ居ルト云フコトヲ許スト云フ意味ガ初メテ現ハレテ來ルノデアリマスガ、其以上尙今申上ケルヤウナ事情デ、許スト云フコトニシテシマヒマスルト、制限ヲ設ケルコトガ出來ナイコトニナリマス、左様ナ必要ニ應ジテ制限

ヲ設クル處置ヲ開クタメニ……

○望月長夫君 法律文トシテ今ノ御説明ニナルヤウナ御趣意ナラバ、反對ニスルノガ當リ前デアル、斯様ニ書クナラバヤハリ糧食ヲ自辨サセルト云フ變例ニシカ讀メヌ、是ニハ立法者ノ——立法者ノ趣意ノ説明ガ、何時迄デモ法律解釋トシテ、寧ロ法律トシテ價ガアルナラバ、ソレニ信賴シテ宜シイケレドモ、斯様ニ法文ニ書イテアレバ、ヤハリ法文ノ文章通り解釋サレテ、ソレハ往ケナイ、立法者ハ斯ウニ云フヤナイカト云フ譯ニ往カスト思フ、ソレデ若シ今御述ベニナルヤウナ趣意ナラ、如何ニモ此三十五條ノ文章ハ拙劣ナ書方デ、他ノ文例ニナリ、謂ハミ不都合ナ文章ダト思フ、ソレデ其不都合ガナイ、他ニモサウ云フヤウナ例ガアルト云フヤウナ、何カ據リ所ガアリマスカ

○花井卓藏君 小河君ノ御答辯ニアリマスガ、私ノ解釋スルトコロニ依レバ、原則トシテハ國家ハ刑事被告人ニ、衣食住共ニ授クベキ義務ガアルモノト思フ、法律ノ働キトハ申シナガラ、人ヲ捕ヘテ獄ニ投ズル、既ニ獄ニ投ズル以上ハ、其者ニ衣服ヲ給シ、其者ニ食料ヲ給スルト云フ事柄ハ、當然ノ義務ト私ハ信ジテ居ル、ソコデ原則トシテ見マシタナラバ、國家ハ刑事被告人ニ或給養ノ義務ヲ有シテ居ル、然レドモ場合ニ依ッテハ自辨モ亦之ヲ認メル、斯ウ云フ意味ニ見ルノガ正シキ解釋デハアルマイカト思フ、望月君ノ御問ノ趣意ガ、餘程峻刻デアッテ、糧食ノ自辨ヲ許スガ原則ナリヤ、許サザルガ原則ナリヤ、斯ウ問ハル、ト御答ガ随分苦シクナルト思フ、ソレデ私ハ斯ウ見テ往キタイ、國家既ニ被告人ヲ獄舍ニ收容シタル以上ハ、食ベルダケノモノハ與ヘナケレバナラヌ、着ルダケノモノハ與ヘナケレバナラヌ、然レドモ其者ガ自ラ着物ヲ着ルダケノ力ガアリ、自ラ食物ヲ食ベルダケノ力ガアル以上ハ、其請求ニ任セテヤル、其然ラザル者ニ對シテハ國家ハ無論給養ノ責任ヲ負ハナケレバナラヌデアアル、斯ウ云フ風ニ見ルノガ正シイ解釋デハナイデアアリマセウカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 今私ノ申上ケタ趣意モ、花井君ノ仰シヤッタトコロニアルデアリマスガ、ソレハ私ノ申上方ガ惡カッタカモ知レマセヌガ、私ノ解スルトコロニ依リマシテモ、ヤハリ國家ガ義務トシテ給養スベキモノト考ヘテ居リマス、而シテ刑事被告人ニ對シテ、特別ノ途ヲ開イテ、自辨ヲ許スト云フ趣意デアリマス

○花井卓藏君 國家苟クモ被告人ヲ收容シタル以上ハ、其者ニ衣食共ニ相當ナル給養ヲ爲スベキ義務アルコト勿論デアアル、寧ロ原則デ、法文ノ規定ヲ俟ツマデモナイ位ノモノデアリマスカラシテ、其規定ハ前條ニアルガ實ハナクモ宜イデアアル、而シテ第三十五條ハ其原則ヲ寬カニ見ル方ノ側カラ、變例ノ趣意ニ於テ書カレタ條文ト理解スルノガ當然デアアリマスマイカ

○政府委員(小山溫君) 斯ウ云フ積リナシデス、三十四條ハ刑事被告人デモ既決囚デモ拘禁スル、拘禁スルケレドモ食ハサヌヲデヤナイ、チヤント糧食モ飲料モ給スルノデアアル、サウシテ三十五條ハ刑事被告人ガ自分デ糧食ヲ自辨シタイト云ヘバ、許シテモ宜イ、斯ウ云フコトニナリマス

○花井卓藏君 三十四條モ、三十五條モ並ベテ書イテアリマスカラ、望月君ノ如キ疑モ起ルノデアリマスガ、平タク讀メバ三十四條ハ「在監者ニハ其體質健康、年齡作業等ヲ斟酌シテ必要ナル糧食及ヒ飲料ヲ給ス」ト云フ國家ノ給養義務ニ關スル一定ノ原則

ヲ定メテ置イテ、三十五條ハ其例外規定デアッテ、且刑事被告人ニ限り請求アレバ、糧食ノ自辨ヲ許スコトヲ得ベシ、斯ウ云フ意味ニ解釋スルノガ正シイデアアリマセヌカ

○政府委員(小山溫君) 其通りデアリマス

○阿部德三郎君 チョット是ハムヅカシイ問題カ知ラヌデアリマスガ、一體此受刑者ニ對スル痛苦ト云フモノハ、均一デナケレバナラヌト云フコトハ申上ケルマデモナイ、然ルニ此受刑者ニ對スル給養ト、受刑者ニ課スル作業トヲ對照シテ見マスルト、作業ノ方ハ在監者ノ體質、健康、年齡、職業、從來ノ生計等ヲ斟酌シテ、相當ナル作業ヲ課スルト云フノガ御趣意トナッテ居ルヤウデアリマスガ、此給養ノ方モ、此一定ノ種類、臥具トカ或ハ糧食ト云フヤウナ事柄ハ、被告人ニ依ッテハ餘程相違ガアルデアラウト思フ、デ作業ノ方ハ能ク被告人相當ノモノヲ課スルト云フコトデアリマスカラ、是ハ至極能ク出來デアリマスデアリマスガ、給養ノ方ハ被告人ノ人々ニ依ッテ餘程痛苦ノ感シ方ガアルモノデアラウト思フ、ト云フノハ極ク貧困ニシテ平生粗食ニ慣レテ居ル者、或ハ常ニ襤褸ヲ纏ウテ居ルヤウナ者ト、立派ナ生活ヲ爲シテ居ルトコロノ者トニ、一定ノ糧食、衣類ト云フヤウナ給養ノ仕方デハ、痛苦ノ感シ方ガ甚ダ異ナルデアアラウト思フ、一體斯ウ云フコトハムヅカシイ問題デアリマセウケレドモ、監獄政策トシテ斯様ナ給養ノ方法ニ付テモ、均一ニ痛苦ヲ感ゼシムルヤウナ方法ハ無イモノデアリマセウカ、其邊ノ御考ヲ承ハリタイ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 唯今ノ御質問ニ對シマシテ、至極御尤ニ考ヘマスデ、詰リ監獄ニ於テハ成ルベク個人々々ニ就キマシテ、縱令刑名刑期ヲ同ジウスルモノデアッテモ、個人ノ刑ノ執行ヲ均一ナラシムルト云フ見込ヲ以テ、所謂監獄デ努メテ居ルトコロハ、個人的ニ衣服飲食ノ上ニ給養ヲ加ヘルト云フ考ヲ以テ努メテ居ルノデアリマスカラ、今御話ノヤウナ工合ニ、衣服飲食共ニ其身分ナリ、健康ニ對スルト云フヤウナコトヲ考ヘテチヨット外見デハ甲ニ厚ク、乙ニ薄イヤウナ嫌ヒハアルケレドモ、今御話ノ極ク下等社會ノ貧窮ノ生活ヲシテ居タモノト、中流以上ノ平生贅澤ナ慣習ニ慣レタモノト、同一ニ扱フト、其結果痛苦ガ不平均ニナリマスカラ、ソレガ爲ニハ飲食衣服共ニ多少ノ手心ヲ加ヘテ、十分ナコトハイキマセヌケレドモ、痛苦ノ不平均ヲ感ゼシムルコトノナイヤウニ努メテ居ルノデアリマスカラ、或ハ作業等ト云フ字ハアルケレドモ、此中ニハ場合ニ依ッテ習慣身分ト云フヤウナコトマデモ、斟酌ヲスルコトニナル場合ガアルガラウ、又シナケレバナラナイト思ヒマス、成ルベク乞食ノ生活ヲシタモノト、中流以上ノ生活ヲシタモノト、同一ノ扱ハ、飲食衣服共ニ避ケルコトヲ努メテ居ル、實際監獄ニ於テモ着物ヲ與ヘル上デモ、其點ニハ手心ヲ加ヘテアリマス、又加ヘルノガ當然デアアラウト思フ

○望月長夫君 ドウモ此第三十五條ハ不穩當ナ文章トハ思ヒマスガ、私ハ斯様ニ伺フテ答ヲ得タナラバ、此質問ヲヨサウト思フノデスガ、要スルニ此第三十五條ハ第三十四條ノ「在監者ニハ糧食ヲ給ス」ト云フ原則ノ例外トサレタデアッテ、三十五條以外ニ三十五條ノ裏面ニ、糧食ノ自辨ヲ許サズト原則ガアッテ、其反對ニ許スコトヲ得ト云フ變例ヲ極メラレタデアナイ、即チ國家ガ在監者ニ糧食ヲ給セバナラヌ義務ノ變例トシテ、自辨スレバ自辨サセルト云フ、斯ウ云フ意味デ、第三十五條ヲ書カレタモノデアルト見テ差支ナイカ、若シソレナラバ文章ノ不穩當ダケハ我慢シヤウト思フ

○政府委員(小山溫君) 其積リデゴザイマス

○委員長(谷澤龍藏君) チョット此點ニ付テ伺テ置キマスガ、隨分望月君ノ御疑ハ御尤ナコト、思ヒマスガ、本員ノ考デモ、此糧食ノ自辨ヲ許スコトヲ得ト云フコトハ、餘程原則トシテ理窟カラ云ウテハ、イロ／＼立方ガアリマセウガ、將來ノ經濟ト、本人ノ自由トニ付テ、餘程改良ニナツタ點ト思ヒマスガ、ソレデ成ルベク經濟ト本人ノ自由トヲ考ヘテ、殆ト自辨ト云フコトハ原則ト見ル位ノ心持デ宜イモノデアラウト思フ、ソレデ差支ナイカ

○政府委員(小山溫君) 實ハ自辨ハ今モ刑事被告人ニ許シテ居ルノデアリマスガ、數ノ上カラ云フト、殊ニ少ナク、唯小河政府委員カラ答ヘマシタヤウニ、雜居セシメテ置キマスカラ「見エ」ノ上デナケナシノ金ヲ使シテモ、自辨スルト云フヤウニナツテ居ル、事實ハソレデ豫算ノ明細書ニ掲ゲテアルカト思ヒマスガ、自辨食ノ人間ノ豫想致シマシテ、食料費ノ中デ引イテアル豫算ニ、數ハ確ニ覺エテ居リマセウガ、千幾人ト云フ自辨者ヲ見テ引イテアルマスガ、ドウモ刑事被告人ト云フト、皆食物ヲ辨シ得ル實力ノアルモノハ實ニ少ナク、事實ハ——サウ云フモノハヤハリ已ムラ得ズ給セネナラヌ

○委員長(谷澤龍藏君) 成ルベク自辨スレバ經濟ガ多少都合ノ好イコトデアラウシ、被告ニ付テモ利益デアラカラ、成ルベク明文ハナイケレドモ、殆ト原則ト云フヤウナ心持ガ監獄官吏ノ御考ニモアラウト思フカラ、其意味ヲ伺ツタノデ、今ヨリ一層擴張シタ意味ニ……

○政府委員(小山溫君) 實力アルモノハ自分ニ食切レヌ程食物ガアル、一方ニ於テハドウモ自分ニ食フ得ルモノヲ自辨シ得ナイ、斯ウ云フ弊ガアル、一人ノ人ニハ六本モ七本モ一緒ニ辨當ヲ出ス、一方ニハ何ニモ這入ラヌ、斯ウ云フ弊ガアル、ソレデ食得ル人ハ幾ラデモ自辨シ得ルノデゴザイマスガ、事實ニ於テ少ナク、此方デ獎勵致シマセウデモ、向フデ「見エ」ノ上カラヤリタガツテ居ル、自辨シタガツテ居ル

○花井卓藏君 三十五條ノ運用ニ付テ當局ニ望ミ置キマスガ、條文ノ趣意ハ質問並ニ答辯ニ依ツテ能ク明カニナリマスガ、司獄官ガ三十五條ヲ楯ニ取ツテ、糧食ノ差入ヲナスモノガアツタ場合ニ際シテ、差入ヲ許サヌ、拒ム場合ガアリハシナイカ、而シテ拒ム理由ハト尋ネテ見ルト云フト、三十五條ニ糧食ノ自辨ヲ許スコトヲ得トアルノデアルカラシテ、之ヲ許スト否トハ司獄官ノ自由裁量ニ屬スルモノデアアル、ト云ツテ之ヲ拒ム、斯様ナ次第デ、折角ニ親屬故舊ノモノガ辨當ノ差入ヲシテモ、監獄ノ門デ斷ハラレルヤウナ事柄ガアリハシナイカト云フ憂慮ガ甚ダアルノデアリマス、斯ノ如キ事柄ノナイヤウニ施行細則ニ定メラレルカ、或ハ訓令デモ發セラレルカ、此處ニ誤解ノナイヤウニシテ載キタイト云フコトヲ深ク注意ヲ致シテ置キマス、ソレカラ三十五條ニ付テ、ヤハリ刑事訴訟法トノ關係ヲ御尋シマスガ、刑事訴訟法ノ第八十五條中「豫審判事ハ必要ナリト思量シタルトキハ被告人ノ監房ヲ別異シ他人トノ接見書類物件ノ授受ヲ禁シ又ハ其書類物件ヲ差押フルコトヲ得」ト書イテアリマス、此物件ノ授受ヲ禁ズルト云フ決定ニナリマシタナラバ、ドウ致スノデス、監獄法三十五條ノ規定ニ基イテ糧食ノ差入ヲ爲シタ場合ハ、糧食モ即チ物件デアルト云フノデ、差入ルコトヲ許サレザル趣意ニ解スベキモノデアリマセウカ、其答辯ハ監獄法ハ監獄法、刑事訴訟法ハ刑事訴訟法デアルト云フノカ、又ハ監獄法ニアル糧食ノ自辨ニ關スル規定ハ、刑事訴訟法八十五條ニ於ケル豫審判事ガ其授ケ

ラレタル職權ニ依ツテ、物件ノ授受ヲ禁ズル以上ハ其通りニセネハナラヌト云フノカ、斯ル場合ニハ監獄法ト刑事訴訟法ト衝突スルコトナクシテ、一方ハ監獄法ノ原則ヲ定メ、一方ハ刑事訴訟法ノ原則ヲ定メタノデアアルニ過ギナイカラ、各々獨立シタル見地、於テ自由ニ解釋スルノデアアルカ、或ハ後ニ出デタル監獄法ニ於テ、糧食ノ規定ヲ設ケタル以上ハ、前ニ出デタル刑事訴訟法ノ八十五條ノ物件ノ授受ヲ禁ズルト云フ物件ノ中ヨリ、糧食ダケハ削リ去ラレタルモノト見テ宜シウゴザイマセウカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 此監獄則ノ規定ヲ精神トシテハ凡テ刑事訴訟法ニハ觸レヌ考デアアルノデアリマス、今ノ御尋ノ如キモ、若シ刑事訴訟法ニアル物件ト云フ中ニ、食物ガ這入ルト云フコトデアレバ、ヤハリ刑事訴訟法ノ規定ハ、將來モ此監獄法ノ規定ニ拘ハラズ適用スルト云フコトニ解釋シテ居リマス、實際申上ゲマス、今日ハヤハリ一方監獄則ニ於テ自辨ノ許可ガアリマシテモ、若シ刑事訴訟法ニ依ツテ物件ノ授受ヲ禁ジタ場合ニハ、食物モ其中ニ這入ジテ居ルト云フコトノ扱ニナツテ居リマス

○花井卓藏君 サウスルト監獄法ノ三十五條ハ、或場合ニ於テハ刑事訴訟法ノ八十五條ノタメニ妨ケラル、コトガアルト云フコトノ意味ニナリマス

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 他カラ差入ノ場合デアリマシタナラバ、ヤハリ刑事訴訟法ノ處分ヲ受ケルト云フコトニナリマス

○花井卓藏君 斯ル場合ニ於テハ誠ニ氣ノ毒ナヤウデアリマスガ、或ル被告人ニ於テハ自ラ金ヲ出シテ糧食ヲ買得ル金ガアルカラシテ、左様ナ場合マデモ物件ノ授受ヲ禁ズルト云フ解釋ニハ含マセヌノデアアルト云フコトハ、明カニ言ヒ得ラレデシヨウカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 若シ自分ノ金デ糧食ヲ買フノハ差支ナイト云フニ監獄ガ果シテ他人デアアルヤ否ヤト云フノデスガ、私ハ唯今監獄ニ領置シタル物品ガアル、其物品ヲ使ヒタイト云フノデアリマスレバ——解釋ガ正當デアアルヤ否ヤト云フコトニナリマスレバ、今實際預ツテ居ル品物デアレバ、其中ノ品物ヲ使フコトハ認メテ居ルノデアリマス、許シテ居ルノデアリマス、監獄デ食物ヲ造ツテ自辨セシムルト云フコトハ將來ニ向ツテ必要ト云フノデアリマスガ、其方法ニ依ツテ自辨スルコトハ一向差支ナイ考デアリマス

○花井卓藏君 サウスルト刑事訴訟法ノ中ノ物品ノ授受ハ相成ラヌト云フ法文ハ、監獄内ニ於ケル人トノ授受ヲ禁ズルニアラズト云フ意味ニ緩和シテ解釋スベキモノト御讀ミニナツテ居ルノデアリマスガ、或ハサウデアアルカトモ思ヒマス

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 實際ノ扱フ致シマスル場合ニ、既ニ領置品モ其命令ノアル前ニ預ツテ居ルモノデアリマスレバ、其使用ヲ許シテ居リマスカラ、即チ監獄ト本人ノ間デアリマシタナラバ、他人以外ノ物トシテ適用シテ差支ナイト云フ見解ヲ取ツテ居リマス

○委員長(谷澤龍藏君) ドウデスカ第八章ハ——

○花井卓藏君 標題異議ナシ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 第八章標題可決致シマス——三十八條

リト認ムル場合ヲ除ク外其意思ニ反シテ之ヲ剃剃セシムルコトヲ得ス」トアリマスガ、是ハ當然分テ居リマス、衛生ト云フ場合デアリマシテ、而シテ其衛生ニ必要アル場合ハ剃リマスケレドモ、衛生ニ必要ナキ場合ニハ本人ノ意ニ反シテ剃ラスコトヲ得ト、即チ衛生コトハ能ク分テ居ル、然ルニ其他ノ受刑者ノ頭髮ハ剃剃セシムルコトヲ得ト、即チ衛生ニ差支アラウガアルマイガ、剃ラスコトヲ得ト、斯ウニ云フコトニ書イタノハ、恰モ一面ニ於テ頭髮、鬚髯ヲ剃ラサヌト云フコトガ、行刑ノ一ツノ如クニ見エル、又剃ラスコトヲ得ト見レバ行刑ノヤウデモナイヤウニ見エル、衛生ニ差支アルトキハ無論剃ラスガ、差支ナキニ剃ラスタメニ此文ガ設ケテアル、行刑デモナク衛生ニモ差支ナイノニ、意ニ反シテモ頭髮、鬚髯ヲ剃剃セシムルコトヲ得ト云フノハ、如何ナル必要アデス様ナコトニシタノデアリマスガ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 此在監者ノ頭髮或ハ鬚髯ヲ剃剃リ剃剃リスルト云フ意味ハ、先ツ專ラ監獄ノ規律並ニ衛生ヲ保ツト云フ趣意ニ出テ居ルノデアリマス、規律ト云フヤウナ點ニ重キヲ置キマセヌデ、專ラ衛生ヲ保ツト云フ上デ已ムヲ得ナイ場合ニ限テ、刑事被告人ニ對シテハ剃剃サセル、併シ其他ノモノハ衛生ノミナラズ規律上カヲ見テモ必要アルト云フ場合ニハ、此處分ラズル規律モ衛生モ差支ナイ、或ハ其外尙本人ノ習慣職業ナドノ關係ヲ顧ミマシテ、之ヲ剃剃コトガ必要ナリト目的トスル以外ノ苦痛ヲ與ヘルト云フ場合デアリマシタナラバ、例ヘバ婦人ノ如キ、或ハ相撲ノ職業ヲ營ンデ居ル者、若クハ支那人ノ如キ職業習慣ト云フヤウナ點モ顧ミマシテ、必シモ受刑者ト雖モ、剃剃モノデナイト云フ意味デ書イタルノデゴザイマス

○小河源一君 衛生ト云フコトニ付キマシテハ、刑事被告人ト雖モ、衛生ニ注意スルコトハ十分注意シナケレバナラヌコトデアラウト思フ、ソレニ付テハ受刑者モ刑事被告人ト格別區別ガアルトハ思ハレヌ、唯今ノ御答ニ規律云々ト云フコトガアルガ、頭髮ガ伸ビテ居ル鬚ガ伸ビテ居ルト云ツテモ、格別規律ニ差支ガアルトハ思ハレヌ、鬚ガ伸ビテ居ル、頭髮ガ五分刈ガ嫌ヒデ伸バシテ居ツテモ、ソレ等ニ付テ差支ハナカラウト思ヒマスガ、規律ト云フコトハ據處ナイ言葉デナカラウト思フ、併シ以前頭髮ヲ取ラセヨツタ習慣ガアルカラ、以前ノ法律カラ稍、緩和シテ出來タモノデアルト思フケレドモ、尙不十分ト思ヒマスガ、今ノ問ヲ起シマシタガ、是ハ相成ルベキ限リハ本人ノ意ニ反シテハ、剃剃セシムルト云フ手段ヲ執ラナイ、斯ウ云フ手段ヲ執ルトハ稀ノ場合ト云フコトニ考ヘテ宜シイカ

○花井卓藏君 ソレニ關係致シマスカラ、御尋シマスルノハ、私ハヤハリ二十六條ノ頭髮鬚髯ノ剃剃ト云フモノハ、行刑ノ一部ト見テ居ル、小河君ノ答辯ノ中ニ、監獄ノ規律ノタメト云フコトヲ申サレマシタガ、規律ノタメト云フ御言葉ノ中ニハ、自ラ行刑ノ意味ガアルト信ジテ居リマス、即チ昨日質問ヲ致シテ置キマシタ作業モ、教誨モ、教育モ、衣服モ皆行刑ノ一部ヲナスモノデアアル、而シテ頭髮、鬚髯ノ剃剃モ亦行刑ノ一部ナリトセバ能クベクンバ、在監者ノ頭髮、鬚髯ハ衣服ヲ一定スルガ如クニ、規律上同ジヤウニシタイト云フノガ原則デアアル、赤衣着物ヲ着ルト云フノハ行刑デ、頭ノ髮ヲ剃ラセルト云フコトモ行刑ノ一デアアルケレドモ、御説明ノ如ク支那人ノ如キ頭髮ヲ尊ビ、其頭髮ヲ剃ラセルト云フハ、二年三年ノ刑ヨリモ苦痛ヲ感ズル、或ハ婦人デアルトカ、或ハ相撲取デアルトカニ云

フヤウナモノニ對シテハ、別段ナル取扱ヲシテヤラナケレバナラヌカラ、數百人中一人二人左様ナル者ガアツタカラト云ウテ、規律ヲ保ツ上ニ妨ハナイカラ、ソレ等ハ十分慮テヤラナケレバナラヌ、併ナガラ其他ノモノニ在リテハ、出來得ル限リ頭髮鬚髯ヲ一定スルコト、衣服ヲ一定スルガ如クニシタイト云フ主意デ、三十六條ガ出來タモノト信ジテ居リマスガ、サウデナイデセウカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 今私が申シマシタ衛生並ニ規律、此規律ト云フ中ニハ自カラ行刑ノ意味ヲ含シテ居ル考デアリマス、行刑ノ要素ハ規律デアリマス、規律ヲ以テ矯正スルト云フコトハ、ヤハリ必要ナコトニナツテ居リマス、唯今小河君ノ御質問ハ成ルベク取除ケトシテ、剃剃スルト云フコトニシタ方が宜イト云フ御考デナクテ、サウ云フコトニナルカドウカト云フコトデアリマスナ

○小河源一君 サウデス

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 今申上ゲタヤウナ意味デ、規律即チ行刑ノ意味ヲ以テアルノデスカラ、寧ろ剃剃ラヌ者ガ取除ケデアリマシテ、受刑者ノ多數數ノ者ハヤハリ頭髮、鬚髯ヲ剃剃リ、若クハ剃剃ルト云フコトニナルノデス、最モ細則ノ方ニ於キマシテ、餘程注意ヲ拂ヒマス、例ヘバ放免間際ニナリマシタ二週間、或ハ三週間前カラハ入監ノ際ノ形狀ニ於テ、出監セシムル目的デ、若シ鬚髯ヲ蓄ヘテ居ツタ者デアリマスレバ、準備ヲシテ鬚髯ヲ備ヘシメルヤウニシ、或ハ髮ヲ普通ノ形ニ直スト云フヤウナコトヲシテ、出監前三週間若クハ四週間前カラ、其準備ヲスル考デアリマス、監獄ヲ出テカラ監獄ニ居ツタ者デアルトカ、或ハ今マデ違ツタ形ヲシテ出サヌト云フ考デアリマス

○花井卓藏君 二十六條ノ前段ノ意味ハ、行刑兼衛生、後段ハ專ラ衛生ノ意味ニナルト解釋スルガ當然デスカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) サウデス

○花井卓藏君 此條文コソ三十四條、三十五條ヲ分ケラレタコロカラ見ルト、區別シタ方が宜サ、ウニ思ヒマスナ

○委員長(谷澤龍藏君) 三十六條ハ原案通り御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス——三十七條、御異議ハアリマセヌカ

○花井卓藏君 二十六條、三十七條、四十條マデ總テ異議ハアリマセヌカ、三十七條、三十八條ノ如キモノハ監獄法ト云フ上ニ、一體書ク程ノモノデアアルカ、施行細則中ニモ書カナクテモ宜イ位ノモノデハナイカト感ゼラレルノデアアル、私共ガ自分ノ家ニ居テ、自分ノ室ノ清潔ヲ保ツガタメニ掃除ヲスルト云フコトハ、別段國法ノ規定ハナイ、監獄ヲ以テ家トナス以上ハ、自ラ居ル所ト同ジデアアル、其清潔ヲ保ツ上ニ箒ヲ取ルト云フ事柄ヲ法律ノ上ニ書クコトハ如何カト云フ感モアリマス、何カ學校ノ寄宿舎ニ貼ラセル貼紙ノヤウナ規定デアリマスガ、害ガアリマセヌカラ異存ハアリマセヌガ、感服シマセヌ、三十八條モ同様私共運動スルニ付テモ同ジデアアル、國法デ「日本臣民ハ其健康ヲ保ツタメニ必要ナル運動ヲナスヘシ」ト云フ規定ハアリマセヌガ、運動ハ致シマス、然ルニ之ヲ在監者ノミニ限ツテ法律ニ書クト云フコトハ面白クアリマセヌガ、害ガアリマセヌカラ、反對ハ致シマセヌ

○阿部徳三郎君 三十七條ヲ御尋致シテ置キマス、實際入監シタ者等ノ話ヲ承リマス、監房ノ掃除デスガ、殊ニ不潔物ノ掃除ト云フモノハ、新入監者ニノミヤラセルト云フコトガ實際ノ有様サウデアリマス、此用務ニ服スルト云フコトニ付テハ、古ク這入デ居ルモノト、新シク這入デ來タ者ト、用務ニ服スルトコトニ付テハ、何カ施行細則ガアリマスカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 以前ハ隨分今御尋ノヤウナ早ク這入デ居ル者ガ幅ヲ利カセテ、新參ノ者ヲ專ラ掃除杯ニ使タ弊ガアツタデアリマスガ、今日デハ先ヅ其コトハナイ途ガ開イタルデアリマス、ト申シマスノハ施行細則ノ方ニモイッレ規定ニナルト思ヒマスガ、現ニ今日デハ監獄ヲ御覽ニナリマス、各監房ニハ若シ雜居法デアリマス、掃除番ノ札ガアリマシテ、ソレニ依テ新古ノ區別——新參ト古イ者トノ區別ナク、掃除番ニ該當スル者ガ掃除スルト云フコトニナッテ居リマス、札ノ順ニヤッテ居リマス

○磯部四郎君 三十七條異議ナシ

○委員長(谷澤龍藏君) 三十七條、御異議ガアリマセヌカラ、原案ニ決シマス——三十八條

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 別ニ御異議ガアリマセヌカラ、原案ニ決シマス——三十九條——三十九條モ御異議ガナイモノト見テ、原案ニ決シマス——四十條、四十條モ御異議ガナイト見テ共ニ原案ニ可決シマス——四十一條

○花井卓藏君 四十一條モ異議ハアリマセヌガ、此但書デスガ「懲役囚ヲシテ看護セシムルハ此限ニ在ラス」ト斯ウ書イタル、懲役囚ダケハ傳染病者ニ接近セシメテ、サウシテ其傳染病ノタメニ斃レテモ差支ハナイ、ドウモ懲役ナドニ這入ッテ來ル者デアルカラシテ、其位ノ苦ヲ與ヘテモ宜イト云フ趣意ナンデゴザイマセウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ、並ニ看護ハ作業ノ一部ヲ爲スモノデアルカ、ドウデアルカ、若シ看護ノ一部ヲ爲スト致シマスレバ、確カニ生命ヲ賭シテ掛ル仕事デアリマスカラシテ、作業ノ賞與金ハ餘程多クナクチヤナラヌヤウニ考ヘテ居リマスガ、ドウ位ノ日當ヲ御與ヘニナル考デアリマセウカ、又今日マデハドレ程御與ヘニナッテ居リマシタウカ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 是ハ懲役囚デアルカラ傳染病ニ接近セシメテモ構ハスト云フ意味デハゴザイマセヌ、ドウシテモ此在監者ノ傳染病ニ罹リマシタ場合ニ、看護スル者ガナケレバナラヌ、其看護ニ普通ノ看護婦ヲ備フト云フヤウナコトモ、必要ニ應ジテハヤリマスケレドモ、紀律上取締ノ上カラ看護シテモ普通ノ者ヲ在監者ニ接近セシムルト云フコトハ、宜クナイデアリマス、當然監獄ノ役人ナリ、監獄ノ手デ以テ相當ノ看護ヲシナケレバナラヌデアリマスガ、監獄ノ役人ヲ直接ニ看護ニ使フト云フコトモ出來ナイノデゴザイマス、無論看守ハ附テ居リマスケレドモ、懲役囚ニヤハリ此看護ヲ仕事ノ一ツトシテ課スルト云フ積リデアルデアリマス、デ傳染病ノ看護ナドニ出タ者ニ對シテハ幾ラト云フ將來賞與金ニナルデアリマスガ、賞與金ノ額ヲ今此處申上ゲルコトハ出來マセヌケレドモ、イッレ外ノ作業ニ比シテ見ルト其割合ヲ多クシ、尙又是ガタメニ傳染病ニ罹ッタトカ、或ハソレガタメニ不幸ニシテ死亡シタト云フヤウナ場合ニ於テ

ハ、手當金ヲ給スルコトモ出來ルノデ、實際是ハ已ムヲ得ナイ便法デアルノデ……

○花井卓藏君 成ルベクハ四十三條ヲ應用セラレテ、懲役囚ヲシテ看護セシムルノ風ヲ止メルヤウナコトニ願ヒタイ

○委員長(谷澤龍藏君) 四十一條、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り可決シマス、四十二條

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 別ニ御異議ガナケレバ、原案ノ通り可決シマス、四十三條

○花井卓藏君 四十三條ハ誠ニ宜イ規定デアリマスガ、私ハ之ヲ其病院ノミニ限ラズ、或場合ニ於テハ、自宅ニマデ推及ボスト云フ制度ニセラレタラバ、如何デアラウカト存シマスガ、病院ノミニ之ヲ限定セラレタ理由ハ、何處ニ存スルノデゴザイマセウカ、之ヲ刑法施行法第四十九條ノ行刑停止ノ場合ニ於ケル條文ト對照シテ説明ヲ煩シマス

○政府委員(小山溫君) 是ハ前ニ刑法施行法ノトキニ御尋ヲ受ケタノデアリマスガ、此四十三條ノ方ハ、病院ヲヤハリ監獄ト看做シマシテ、即チ一體ハ監獄内ノ隔離舍ニ隔離シテ治療ヲセシムルモノデアリマスケレドモ、其設備ノ無イ即チ適當ノ治療ヲ施スコトガ出來ナイト云フ場合ニ、已ムヲ得ズ病院ニ送ッテ、其病院ヲ詰リ病監ト云フモノト見ルト云フコトニスルデアリマスカラ、必要ニ應ジテ看守ヲ附ケテ置クコトモゴザイマセウシ、或ハ見廻ラセルト云フコトモアル、斯ウ云フ譯デゴザイマセカラ、此方ハ刑期ニ算入ヲスル譯デ、ソレカラ一方ノ刑法施行法デ、刑ノ執行ノ停止ニナリマス、是ハ自由デゴザイマシテ、監獄カラハ何等ノコトヲシナイ、ソレデゴザイマセカラ 刑期ニ算入シナイト、斯ウ云フ相違ヲ生ズルノデ

○花井卓藏君 刑法施行法ハ四十九條ヲ以テ規定セル通一號ヨリ四號マデ掲ゲラレテゴザイマスガ、或ル事故ノ止ムマデ刑ノ執行ヲ停止スルト、云フコトニナッテ居ル而シテ其人ノ病院ニ在ルト、自宅ニ在ルト友人ノ家ニ在ルトヲ問ハズ、然レニ監獄法ノ四十三條ノ方ハ、必ズ病院ニ移送セラレテ、鄭重ナル治療ヲ受クルト云フコトニナルデアアル、而シテ是ハ執行ノ停止ニハアラズシテ、ヤハリ執行ハ繼續ノモノトシテ刑期ニハ算入セララルコトニナッテ居ル、甚ダ權衡ヲ得ヌヤウニ思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ、一方ハ能ク世話ヲシテ貰ツタ上ニ能ク治療ヲシテ貰ツタ上ニ、病院ニ入レテ貰ツタ上ニ、尙且刑期ニ算入セラレ、ソレカラ一方ハ自分ノ家ニ歸ッテ居ッテ、サウシテ病院程ノ十分ナル取扱ヲ受クルコトノ出來ナイ境遇ニ在ッテ、サウシテ刑期ニハ通算セラレヌト云フノハ不權衡ニ失スル、刑法施行法ト同ジヤウニシテ宜ササウニ思ヒマスガ、區別ヲ立テラレタノハドウ云フ譯デセウカ

○政府委員(小山溫君) 刑法施行法ノ方ハ自由デゴザイマシテ、如何ニ鄭重ニ取扱フ受ケマシテモ、ソレハ此刑ヲ執行ヲ停止セラレタ者ノ自由デアリマス、コチラノ方ハサウデハゴザイマセヌ、詰リ監獄ナンデ、ソレダケノ差別ハアッテ宜シカラウト思ヒマス

○花井卓藏君 差別ヲスル頭ノアル者ニハ、或ハ政府委員ノ御説明ガ御尤デアルト云フ感モシナイデモナイ、ケレドモ、精神病者——精神病者ハ差別ノ觀念ハ少シモナイ、

病院ニ居ラウガ、自分ノ家ニ居ラウガ、心神錯亂シテ是非辨別ノ差別ハナイ人デア、ツレガ監獄法ノ四十三條ニハ、精神病トハレテ、病院移送ノ規定ガアル、刑法施行法ノ方ニモ、四十九條ニハ、心神喪失ノ状態ニアルトキトナッテ居ル、ドチッデモ精神病者ト云フコトハ疑ヲ容レヌデヤナイカ、此精神病者ノミ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(小山温君) 是ハ前ニ刑法施行法ノトキニモ、御尋ガアッテ申シタカト心得テ居リマスガ、詰リ實行ノ上カラハ精神病デアリマスカラ、引取人デモアリマスル者ハ、停止スルコトニナル、引取人ノアリマセヌモノハ實ニ仕方ガナイ、精神病者ハツレテ監獄デツレテ病院ニ送ルヨリ外ニ實ニ仕様ガナイ、ツレテゴザイマスカラ、斯ウ云フ風ニナッテ居ル、執行ノ上カラ申シマス

○阿部徳三郎君 四十三條ノ適用ハ受刑者ノ方ハ一向議論ハアリマセヌガ、刑事被告人ノ場合ニ本條ヲ適用スルトキハ、是ハ單ニ本條ノミニ依ッテ見マスルトキハ、刑事被告人ガ豫審中ニ係ッテ、檢事ノ調中トカ、或ハ公判ノ繼續ノ場合ニ於テモ、尙何等ノ指揮命令ヲ俟タズシテ、監獄ガ勝手ニ四十三條ヲ適用スルコトガ出來マスカ

○政府委員(小山温君) 實ハ四十三條ハ是ノミデハ餘リ往キマセヌ、病院ニ移送スルト云フコトモ同様、其送付ケル病院ヲ拘束スル譯ニハ參リマセヌ、病院モ其通り、刑事被告人デアリマス、豫審判事ノ命令ヲ俟ツヨリ外仕様ガアリマセヌ

○花井卓藏君 不權衡ノ規定ノヤウデアリマスガ、兎ニ角監獄ニ於テ病人ヲ取扱フ上ニ於テ、一道ノ光明ヲ認メタル文明的ノ規定デアルカラ、姑ク贊成シテ尙完全ヲ期スルコトヲ望ミマス

○委員長(谷澤龍藏君) チョット念ノタメニ伺ヒマス、此場合病院ノ費用ハ本人ニ負擔セシムル場合ガアリマスカ、ソレトモ總テ監獄費ヲ支辨ヲ致シマスカ、隨分イロ／＼ノモノガアリマセウ

○政府委員(小山温君) 是ハ監獄費ヲ支辨致ス積リデアリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、第四十四條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 四十四條モ原案通り決シマス、第九章

○花井卓藏君 第九章ノ接見及信書ノ標題ノ下ニ規定セラレタル四十五條ヨリ五十條マデ、刑事訴訟法ノ接見信書ニ何等ノ響キヲ有セザル規定トシテ私ハ全部異議ナシ

○小河源一君 私ハ四十五條ニ付テチョット御尋ヲ致シタイ、四十五條ノ親族デナイモノハ接見ヲ許サナイ、又其次ノ信書ノコトモ殆ド同一ニナッテ居ル、是ハ行刑ノ人デアリマス

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) ヤハリ此信書接見ナドハ行刑ニ最モ關係ヲ及ボシマス、規定ト認メテ居マスノデアリマシテ、自由刑ノ執行ヲ受ケテ居ルカラ、其自由制限ノ範圍ヲ成ルベク嚴肅ナラシメルタメニハ、接見モ友人ノ如キ所謂自由ノ交通ヲ餘リ廣ク許シマス、刑ノ効果ニ大ナル影響ヲ及ボシマスカラ、即チ御尋ノ如ク行刑ノ一部分ヲナシテ居ルモノト認メテ居リマス

○小河源一君 法律ヲ以テ命ジマスレバ、何デモ行刑ト云ヘバ行刑ニナルデアリマス、此在監人ニ對シマシテハ圖書等ノ閱覽ヲモ許シマス、サウシマスレバ親族デナクトモ其他ノモノト雖モ行刑ノ執行ニ妨ケノアル場合ニ於テ、信書ナリ接見ヲ許サナイト云フコトハ是ハ分ッテ居ル、然ルニ朋友等ガ面會シタイト云フ何等差支ナイトキニモ在監人ヲ苦シメルタメニ許サヌト云フ意味トシテハ甚ダ其意ヲ得ナイと思フ、其苦シムルコトノミヲ以テ万能トシテ居ルナレバ、圖書等モ見セイデ宜イト云フコトニナリマセウ、行刑ハ一定ノ行刑ヲ致シ、一定ノ作業ニ就カセル、シテ見ルト先ツ足ルノデア、其他ハ其執行ノ妨ケニナル部分ヲ防グタメニ、行刑ノ一部トシテ行フコトガアル、是ハ非常ナ影響ヲ及ボサヌ限リハ、ヤハリ接見ヲ許シ信書ヲ許シテモ宜カラウト思フ、故ニサウ見マスレバ之ニ絕對ニ反對スルノデハナク、又本條ニモ絕對ニ禁止シテ居ルノデハナイ、許サヌト云フコトニシテ、而シテ必要ノアツタキハ許スコトニシテ、絕對ニ禁止シテ居ルノデハナイカラ、敢テ本條ニ付テ彼是申ス次第デハナイノデア、唯餘リ嚴酷ニ失シテ居ル、是ハ必要ト認メナイト云ッテ拒メバ、何事モ拒ミ得ラレルガ、成ルベク是ハ拒マナクテ使用ノ利クコトニスルガ宜イト云フコトニシテモ宜シイカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 御尋ノ通り、此接見信書ノ如キハ或意味カラ申シマス、ヤハリ本人ノ感化改良ト云フヤウナコトニ力ガアルノデ、成ルベク自由刑ノ實施ニ差支ナイ限リ、刑ノ目的ヲ達スルタメニ、清キ交際ハ成ルベク獎勵シタイト云フ精神デア、此親族以外ノ朋友デモ、其朋友間ノ交際ガ善行ト云フ意味ニ解釋セラレル場合ニ於キマシテハ、寧ろ獎勵シテ宜イト云フ考デアリマスガ、唯實際朋友ト云フ名義アルモノハ、今日マデノ實驗ニ依リマス、犯罪者ノ多數ノモノ、朋友ハ所謂惡友デ、之ニ接見信書ヲ許ス結果ハ惡行ヲ勸メルト云フ虞ガアル、其消極的ノ弊害ヲ防グコトヲ專ラ努メル精神カラシテ、但書ヲ設ケタデアリマスガ、意味ハ全ク善キ交際ハ朋友デモ許ス考デアリマス

○委員長(谷澤龍藏君) 四十五條ニ御異議アリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、四十六條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、四十七條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、四十八條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、四十九條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、五十條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、五十一條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、五十二條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、五十三條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、五十四條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、五十五條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、五十六條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、五十七條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、五十八條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、五十九條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、六十條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り決シマス、六十一條

○望月長夫君 五十一條ノ三項中「之ヲ廢棄スルコトヲ得」トノミヲアツテ、第五十三條ノ如ク「又ハ之ヲ没入」ト云フ六字が無くナリテ居ルガ、此五十一條ノ場合ニハ必ズ廢棄スベキモノ、ミデアルト云フコトニナリマスガ、第二項ニ依テ見マス、保存ニ堪ヘナイ場合デナク、保存ニ不適當ナリト認メル物ハ領置ラセズ、又ハ之ヲ解ク、斯ウ云フコトガ書イデア、所ガ例ヘバ新入監者ガ生魚ヲ持テ居ル、所謂其價ガアルガ、保存ニ不適當ナル、監獄署デ預テ置クコトハ出來ナイ、而シテ本人ハソノナモノハ構ヒマセヌト云フテ適當ノ處分ヲシナイ、ソノ場合ニハ廢棄ト云フ文字ノミデアナクシテ、没入スル必要ガアルコトハアリハシナイカ、第五十三條ノ場合ニモ、殆ド廢棄ノミデアラウト思ハレル、寧ロ五十三條ノ方ハ廢棄ノミデアカラウト思ハレマスガ、第五十一條ノ没入ト云フ文字ヲ殊更ニ書カレナカッタノハ、ドウ云フ趣意デゴザイマスガ

○政府委員(小山溫君) 前ニ御述ベニナリマシタ通り、無論此處分ヲ受ケマスモノハ、眞ニ價値ノナイモノホカナイト云フ考ナシマス、ソレハ御覽下サイマス通り、在監者ガ相當ノ處分ヲ爲サザルトキハ斯ウ云フデアリマシテ、價ノアルモノナラバ在監者ガ監獄ニ頼シテ處分シマスガ、實際ニ於テハ困ラセマスモノハ古下駄デアルトカ云フヤウナモノデ、沒收ト云フ手續ヲ盡シマスノガ、却テ費用ガ懸ルト云フヤウナ次第デア

○望月長夫君 サウスルト此場合ハ大抵在監者ガ處分ヲスルデアラウト云フ意味ナシマス

○政府委員(小山溫君) 左様デゴザイマス
○花井卓藏君 領置ト云フ文字ノ法律上ノ意義ヲ伺ヒタイノデアリマス、後ニ必ズ問題ニナルノデアラウト思フカラ伺フノデス、領置ト云フ文字ハ民法ノ占有ト云フヤウナ意味ト、ハッキリ見ルノガ正當デアリマセウカ、占有ノ意味ニ見エナイコトハナイノデアアルガ、監獄法ハ監獄法ノ主義デ、領置ナル一ノ意義ヲ定メタモノト見ルノガ正當デアリマセウカ、領置ノ問題ニ付テ民法ノ理窟ナドヲ蟠マセラレテ、後日爭ナドガ生ジタトキニ御迷惑デアラウト思ヒマスガ、ソレヲ解決スルタメニ、答辯ヲ煩ハシテ置キタイト思フ

○政府委員(小山溫君) 第三者ガ占有者ナリトシテ認メマスル場合デ、是ハ占有シテ居ルト云フヨリ、事實上占有シテ居ルト云フ外アルマイト思ヒマス、之ニ規定致シマスノハ、一ノ行政處分ト云フテ有ルニ過ギナイ

○花井卓藏君 サウナクチヤナラヌト思ヒマス

○小河源一君 此第三項ノコトニ付テ唯今望月君ガ尋ネタ續キデアリマスガ、没入モセズシテ廢棄スルコトヲ得ト云フノデアアルカラ、悉ク廢棄スルト云フ意味デモナイ、又價値ノアル物ハ廢棄セズシテ取ツテ置クコトモアルト見ナケレバナラヌ、廢棄セズシテ取ツテ置ク場合ニハ没入シテアルカラ、其物ハ國ニ歸屬シナイ、左様ナモノハ今度出監ノトキニ處分ヲシタ物ヲ、入監者ガ戻シテ呉レト言ッたら、政府ハ戻スノデアリマセウカ、監獄ハ戻スノデアリマセウカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 廢棄ヲ致シマセヌト云フト廢棄モ没入モ出來マセヌガ、廢棄ヲシナイコトニナルトヤハリ一時領置ノ處分ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、若シ領置ヲシテ置クコトニナルト、ヤハリ在監者ノ出監スル場合ニハ、ソレヲ返シテヤラナケレバナラヌト思ヒマス

○望月長夫君 第三項ノ趣意ニ依ルト、前刻例ヲ設ケテ御尋ラシマシタガ、若シ保存ニ不適當ナモノデアツテ、且價ノアル場合ニハ、入監スルモノガ悉ク常識ヲ有ッタモノナラバ宜シイケレドモ、入監スル者ハ無論精神病ノ疑ノアルモノモアレバ、又刑事被告ニサレタト云フヤウナコトデ、非常ニ精神ノ昂進シテ居ルモノモアレバ、必シモ常識ニ從フテハ二十錢ノ價ガアル、是ハ一圓ノ價ガアルカラ、ソレヲ紛失スマイト云フ精神デ、屹度相當ノ處分ヲ本人ガスルニハ限ラマイト思フ、其場合ニハヤハリ此處ニ没入スルト云フ文字ガナイト、例ヘバ價ノアルモノデモドウシテモ廢棄スルヨリ仕方がナイト云フトキ、ソレヲ廢棄セズシテ國ノ所得ニスル方法ガ、何カノ意味デ出來ルデアリマセウカ、是ハ所有者ガ無イノデナク、所有者ガソコニ居ルノデカラソレハ分テ居ル、唯保存ニ困ルノデアアル、無論携帶シテ來タモノデアアルカラ動産デアアル、動産ナラバ所有者ノ無イトキハ無論國ノ所有ニ歸屬シマセウカ、所有者ガ現在其處ニ居ルノデアアルカラ、所有者ガ分テ居ル、所ガ保存ニ困ル、或ハ生魚ヲ持テ居テ保存ニ困ルガ併シ價ハアル、所ガ此法條ダト、唯廢棄スルヨリ外仕方がナイ、ソレヲ廢棄スル方法ハ無イ、國ノ所得ニスル方法ハ一切無イヤウニ思ハレマスガ、何カソレハヤハリ國ノ所得ニスル方法ハアリマスガ、没入ノ字ヲ各シタノデアリマセウカ

○政府委員(小山溫君) 事實ニ於テハ極ク稀有ト心得マスガ、廢レ易イ物トカ、魚ナドヲ没入シタトコロガ仕様がナイ、棄テルヨリ外仕様がナイ、サウ云フ物デゴザイマセヌケレバ處分モシマセウ、又ドウカ領置モ出來ルデアラウ、現ニ所有者モ分ルノニ、廢棄ト云フコトモ實ハ少シヒドイカト思ヒマス、取上ゲルト云フノハ不當ナイカト思ヒマス、少シ行過ギルヤウニ思ヒマスガ……

○小河源一君 是ハ斯ウ見テ宜シイノデアリマセウカ、廢敗スル物件デ値打ノアル物がアツタトキニ、値打ノ無イモノハ之ヲ廢棄スルカラ、廢棄スルコトヲ得ト書イデアケレドモ値打ノ無イ物ハ本人ガ處分ヲセズトモ、成ベク廢棄セズシテ之ヲ監獄ニ於テ如何トカ處分ヲシテ置ク、之ヲ領置シテ置イテ、出ルトキニ本人ガ請求スレバ本人ニ返ス、斯ウ云フ意味デ定メテアルカ、又没入ト云フ意味ハ本人ガ處分セヌヲ國ニ取ルハ不都合デアアルカラ、之ヲ廢棄セズシテ處分ヲシテ置イテ後本人ニ返ス、斯ウ見テ宜シイノデアリマセウカ

○政府委員(小山溫君) 在監者ニ成ルベク勸メテサウ云フ物ハ金ニ換ヘテ取ツテ置イタラ宜カラウ、斯ウ云ウテ金ニ換ヘテ、サウシテ領置スルト云フ手續ハスル積リデア

○小河源一君 併シ在監者ガセヌ場合ニモ、監獄デ處分シテ出ルトキニ其金ヲ渡スノデスカ

○政府委員(小山溫君) ソレハ渡スノデス、併シドウシテモ是ハ處分シテハイカナイト云フ場合ニハ仕方ガナイト思ヒマス

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 万々止ムヲ得ヌ場合ニハ、此廢棄ト云フコトガアリマスレバドウカシテ本人ガ處分スルデアラウト思ヒマス、併シ處分シナイト云フ場合デ已ムヲ得ナイトキハ、監獄デ保存スルヨリ仕方ガナイ、保存ニ不適當ナルモノデアアルケレドモ、サウカト云ウテ食ノ六部ト云フヤウナ者デモ、大キナ荷物ヲ背負ッテ歩ク、アレラモノノ商賣道具デアツタ、サウカト云テ何處ヘモ處分スルコトガ出來ナイト云フ場合ガ

アル、或ハ猿廻ガ猿ヲ持ッテ來ルト云フトキニハ、ドウモ已ムヲ得ズ、サウカト云フテ拋棄スルコトモ出來マセヌカラ、監獄デ一時預ッテ置イテヤルト云フ事ガアリマス、若シ早ク刑期ガ満チテ出ルト云フナラバ……

○小河源一君 私ノ先ニ申シテ趣意ガ違ヒマセウカ、拋棄セズトモ値打アルモノデアアル、而シテ本人ハ處分ヲシナイト云フ場合デ、唯今ノ小山サンノ御答デハ、本人ガ拋棄セヌト云ヘバ如何トモ處分ノ仕様ガナイト云ハル、ガ、拋棄スルコトモ出來ルシ、拋棄セズ、値打アルモノハ勝手ニ處分スルコトモ出來ル、拋棄スルコトモ出來ル、自由ニドウニデモ出來ル、其場合ニ本人ガ處分セヌデ、監獄デ勝手ニ處分シテ置イテ、而シテ上ツタ金ガ總令百圓デモ、五十圓デモ、一圓デモ、其金ニ處分シテ取ッテ置キ、サウシテ本人ガ出テ來ル時ニ出シテヤルト云フコトデ、此法文デ差支ナイヤウニ思ヒマスガ、殊ニ精神病者ハ、自カラ處分スルコトガ出來ヌ自カラ處分スルコトガ出來ヌモノハ、必シモ拋棄セヌデモ宜シイ、拋棄シテ宜イ物ハ拋棄スル、之ヲ拋棄スルニハ惜シイト云フ物ガアレバ、監獄デ處分シテ置イテ、後トテ渡シテ差支ナイト思ヒマスガ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 今ノ御尋ハ實際差支アルマイト思ヒマス、是ハ政府委員カラモ御答シタ意味モサウ云フ意味デアリマス

○委員長(谷澤龍藏君) 五十一條、原案ノ通り可決シテ宜シウゴザイマスガ

○花井卓藏君 五十一條モ異議ガアリマセヌガ、五十條モ異議ガ無イト云フコト決議ニナリマシタガ、私ハ政府委員ニ希望シテ置キマス、接見ノ立會ト云フコトハ別ニ命令ヲ以テ定メラレルコトニナルデゴザイマセウカ、辯護人ノ刑事被告人ニ接見スル場合ニ、司獄官ノ立會ヲ廢スルト云フ主義ニ、是カラ方針ヲ御採リテ願ヒタイ、是ハ近來法曹界ノ問題デアアルノミナラズ、現ニ此司獄官ノ立會ノタメニ不都合ヲ感シタル場合モ妙カラヌ、監獄ノ取扱振リガ一定シテ居ラヌカラデス、取締ノタメニ立會フト云フ考デ立會テ居ル司獄官モアレバ、中ニハ檢事豫審判事ノ小使ノ意味ニ於テ、其傳令使ノ意味ニ於テ立會テ居ル司獄官モアル、又豫審判事檢事ハ往々ニシテ職權ヲ踰越シテ、是等ノ者ヲ傳令使ニ使ハント心掛ケテ居ル實例モアルデアアル、現ニ監獄署ヘ往ッテ見マスト辯護人ト被告人トノ接見ニ對シテハ、其談話ハ自由自在デアアルベキ筈デアアル、唯囚人が逃ケ去リナドシテハ往々ケスト云フ方ニノミ着目シテ會話關係ニ付テハ何等ノ考モ頭ニ戴カヌ流義ノ人モアル、是ハ誠ニ其當ヲ得タルモノデアリマスガ、中ニハ辯護人ト被告人トノ談話ヲ、一々書取テサウシテ之ヲ檢事若クハ豫審判事ニ送附シテ、豫審判事ハ其送附サレタ書面ヲ往々基礎トシテ審問ヲ試ミル、甚シキニ至ッテハ檢事中ニハ反證デアルト云ッテ法廷ニ提出スルモノモアル、サウ云フモノハ取締デナク、檢事豫審判事小使ト謂ハナレバナラヌ、就テ監獄規則ヲ見レバ、豫審判事檢事隸屬スルトモ書イテナイ、其他ノ命令ニモ書イテナイ、法律ニモ書イテナイ、サウ云フヤウナ惡弊ガ助長シテ大ニ迷惑ヲ蒙ツタ、私共ノ友人ガアル私ハ監獄吏ハ最モ信仰スル一人デ、裁判所ヨリ寧ロ司獄官ヲ今日デハ信用スル一人デアリマスガ、如何セン、立會官吏ハ低位ニ居ル人間デアアルカラ、智識ガ十分デナイノデアリマシテ、往々ニシテ其問答ヲ間違テ書イテ、間違ッタモノヲ報告スル其報告ガ他日ノ材料ト成テ、現ニ榎田ノフト云フ被告事件デアッタ記憶シマスガ、誤リタル報告ガ送附セラレテ、吾々ノ最モ親シイ友人デ、而カモ溫厚篤實ノ君

子トマデ謂ハレタ鹽谷恆太郎ト云フ男ハ、ソレガタメ懲戒ニ付セラレタ、段々取調ヲシテ見ルト、司獄官ガ開議ツタ事ヲ書イテ檢事ニ送ッタタメ累ヲ受ケタノデアリマス、併シ是ハ懲戒裁判ヲ開始セヌト云フ決定デ濟シタノデアリマス、ケレドモ實ニ斯様ナル迷惑ヲ來サシメルト云フ原因ハ、全ク此接見立會ト云フコトノ規則カラ起ッタデアアル、接見立會ノ吏員ガ、取締ノタメ立會ト云フコトヲ忘レテ、檢事豫審判事ノ奴隸デアルト云フヤウナル考ヲ以テ立會フ如キ、間違ヒタル了簡ヨリ終ニ此ノ如キ失態ヲ生ズルニ立至ッタモノデアラウト思ヒマス、命令ヲ以テ御定メニナル場合ニハ、ドウカ辯護人ノ立會人ハ全然廢シテ貫ヒタイ、若シ又立會ガ要ルト云フナラバ、談話ハ書取ッテ檢事豫審判事ニ送ルコトハ相成ラヌ、豫審判事及檢事ガ如何ニ頼ンデモ應スベカラス、又應ズベキ筋ノモノデ無イト云フコトヲ、立派ニ書イテ置カレンコトヲ私ハ注文シテ置キマス

○阿部徳三郎君 チョット花井君ノ接見ノコトニ付テ御注意ガアツタヤウデアリマスガ、辯護士ガ被告ニ接見スル場合ニ於テ、或裁判所ニ於テハ豫審中ノ事件ヲ話スコトガ出來ナイト云フテ止メテ居ル處モアリ、或裁判所ニ於テハ自由ニ事件ヲ質スコトヲ許シテ居ル處モアツテ、甚タ其取扱ガ區々ニ成ッテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ニ付テ今後如何ナル御方針ヲ採ラレルノデアリマスガ此際承ッテ置キマス

○政府委員(豐島直通君) 唯今ノ御尋ニ御答致シマスガ、今日ハ豫審中ノ事柄ニ就キマシテハ、談話ハ許シテ居ラヌト云フ方針ヲ採ッテ居リマス

○阿部徳三郎君 私ハ其裁判所ハ申シマセヌケレドモ、現ニ對談ノ際ニ豫審中ノ事件ヲ談話ヲ許シテアルコトヲ目撃シテ居ルノデアリマス、一体ソレハ何等ノ規定ニ據ツテ、左様ナ御取扱ニナッテ居リマセウカ、談話ハ許サヌト云フコトモ、許スト云フコトモ、何カ基ク所ガアリマスガ

○政府委員(豐島直通君) 豫審中ノ事柄ハ成ルベク外部ニ漏レヌヤウニ致スト云フ、刑事訴訟法ノ趣意ト考ヘラレマスノデ、ソレガタメニ談話ニ依ッテ外部ニ漏レルコトヲ防グト云フ考デアリマス

○阿部徳三郎君 サウスルト刑事訴訟法ノ主義ノ上カラノ御解釋デ、基クトコロノ法規ト云フモノハナイノデスナ

○政府委員(豐島直通君) 左様デス

○委員長(谷澤龍藏君) 五十一條、原案通り可決シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 五十二條、原案通り御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 五十三條、是モ同様ナモノデス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 五十二條、五十三條、原案通り可決致シマス、五十四條

○花井卓藏君 私ハ分ッテ居ルノデスガ、取扱フ司獄官ノタメニ代ッテ質問致シテ置キマスガ、私ニ所持スル物トハドンナモノデスカ、看守長代理トシテ伺ヒマス

○政府委員(小山溫君) 詰リ現今デハ隱匿物、藏匿物ト申シテ居リマスガ、新入監

ノ際ニ點檢ハ致シマスルガ、ソレヲ免レテ持ッテ來テ居リマス物、或ハ監獄内、或ハ外役先テ拾ッテ持ッテ居リマス、サウ云フヤウナ物デアリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 五十四條、御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り可決致シマス、五十五條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 五十六條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 五十五條、五十六條原案通り可決シマス、五十七條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 五十七條原案通り可決シマス、第十一章賞罰

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○花井卓藏君 表題異議ナシ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 表題原案通り決シマス、五十八條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 原案通り可決致シマス、六十條

○花井卓藏君 六十條ハ少シ同ヒタイコトガアリマスカラドウデセウ、此處テ飯ヲ食ベテハ如何デス、濟マシタイケレドモ、六十條ニ付テ少シ聽キタイコトガアリマス

○委員長(谷澤龍藏君) ソレデハ、午後引續イテヤリマス

午後零時二分休憩

午後零時五十九分開議

○委員長(谷澤龍藏君) ソレデハ午前ニ引續イテ開會致シマス、第六十條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○磯部四郎君 チョット質問致シマスガ、此一、二、三、四、五、六ト十二マデアリマスガ、是ハ一ツ、科セラル、ノデアリマスカ、一ツモ二ツモ併科セラルノデアリマスカ……

(「ソレハ後ノ項ニ書イテアル」ト呼フ者アリ)

○小河源一君 此懲罰ノ中ニ於テ宜イ點モ多イと思ヒマスガ、或ハ七日以内ノ減食若クハ重屏禁ト云フガ如キ項ハ、大ニ衛生ニ差支ノアルコトデアアルマイカト思フ、現ニ三十八條ノ如キハ在監者ニハ其健康ヲ保ツニ必要ナル運動ヲ爲サシム「健康ヲ保ツニ必要ナル運動ヲ禁止スルコトニナル、所謂不健康ヲ來スト云フコトニナル、惡イ事ヲシタ者ヲ相當ノ方法ヲ以テ懲罰スル」ト云フコトハ、是ハ已ム得ヌコトデアアル、又爲サナケレバナラヌコトデアアルガ、人體ノ健康ヲ害スルコトマデモスルト云フコトハ、甚ダ此在監人ニ對シテ酷ナルコトデアリカ、減食ト云フコトモ、是ハ懲役人ヲ非常ナル優遇ヲスル譯デアリカ、人ノ身體生命ヲ保ツニ必要ナル食料品ヲ與ヘルデアアル、其中ヨリ減食ヲ七日間モスルト云フコトハ、健康ヲ害スルニ相違ナイ、又重屏禁ノ如キ夜間ニ寢具モ與ヘヌト云

フガ如キコトモ、非常ニ衛生ニ害ノアルコト、思フ、斯ノ如キ懲罰方法ヲ設ケナクテモ、相當ナル此此外ニ書イタコトテ足ラナイナラバ、何カ良イ方法ヲ案出スルカ、若シ已ム得ナカッタナラバ、是等ニ當ルモノヲ別段ニ懲罰法トシテ定メテ、而シテ其刑期ノ終ル後ニ刑罰ヲ科シテモ宜イデアアル、現ニ人體ノ健康ヲ害スルコト云フ事柄ヲ知リツ、健康ヲ害スルコトヲ目的トシテ、斯様ナ懲罰ニ附スルト云フコトハ、甚ダ正當ノ立法デアアルマイト考ヘマスガ、如何デス

○望月長夫君 今小河君ノ續ノ同シ事ヲ一ツ、ヤハリ同シ意味デアリマスガ、減食屏禁ト云フコトデスガ、舊ノ監獄規則ノ四十四條ニハ「減食若クハ暗室ノ罰ニ處スベキ者アルトキハ醫師ヲシテ診視セシメ身體ニ妨ナキヲ證シテ後之ヲ行フ」ヘシ其處罰中ハ醫師ヲシテ毎日之ヲ觀察セシメ醫師ニ於テ身體ニ妨アルヲ證スルコトキハ處罰ヲ中止セシ「斯ウ云フ態々規程ガ監獄則第四十四條ニ指ヘテアツタノデ、勿論今度ノ監獄法ノ第六十條ニハ、懲罰ノ執行ノ停止ト云フコトガ規定サレテ居リマスカレドモ、舊規程ノヤウニ先以テ行刑ノ初メ」刑ト云フ名ハ當ヲ得ヌカモ知レマセヌケレドモ、懲罰ヲ行フ初メニ醫師ヲシテ診察セシメ、及懲罰中ニ醫師ヲシテ毎日觀察セシムルト云フヤウナ保障ハ無クナツタノデアリマスガ、之ニ付テ何カヤハリ從來ト變ラヌ程ノ注意ヲ拂フベキ箇條ガ施行法カ何カニデモ出來ルノデアリマセウカ、若シサウデナイト、今ノ小河君ノ質問ノ趣意ガ一層有力ナル、ソレヲ一ツ同シテ置キタイ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 唯今小河君ノ健康ヲ害スル虞ノアリマスル數項ノ懲罰法ニ付テノ御疑デアリマシタガ、是ハ實際已ムヲ得ナイ、誠ニ懲罰トシテハ面白クナイ方法ト認メテ居ルノデアリマスルガ、奈何セン監獄ノ紀律即チ行刑ノ實質ヲ保チマスルタメニハ、或程度マデハ健康モ犧牲ニ供サナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマシテ、實際已ムヲ得ナイ規程ト認メルノデアリマス、尤モ斯様ニ健康ヲ直接ニ害スル虞ノアリマスルモノニ付キマシテハ、成ルベク日數ノ上ニ付テ制限ヲ設ケマシテ、甚シク健康ヲ害スル結果ヲ見ナイヤウニスル考デ、十分注意ヲ拂フ考デアリマス、尙ソレニ付キマシテ現行監獄成規ノ上デハ唯今望月君サシカラ仰シヤツタ通りニ、先ツ懲罰ヲ行フ前ニ當リマシテ、醫者ニ其健康ヲ診察セシメタ上デ、其懲罰ニ堪エルヤ否ヤト云フコトヲ認メタ上デ、スルコトニナツテ居リマスガ、是ハ先ヅ手續ニ關スルコトデアリマスカラ、其事ハ施行細則ニヤハリ同様ノコトヲ規定致シマシテ、著シク現ニ病氣ニナツテ居ルト云フヤウナ者ア、其健康ヲ害スル虞ノアル場合、即チ醫師ガ懲罰ニ堪エナイト認メタ場合ニハ科サナイ、差支ナイト認メテ科シタ上ニ於キマシテモ、尙毎日醫者ニ健康狀態ヲ診察セシムルト云フ注意ハ、施行細則ノ上ニ於テ注意ヲ拂フ積リデアリマス、此減食ナドノ事ニ付キマシテハ御尤モデゴザイマシテ、是ハ隨分學者ナドノ間ニモ議論ガアルノデ、斯様ナ懲罰ハ廢シタ方ガ宜イト云フ說ハ段々アルノデアリマス、日本ナドニ於キマシテモ、實際ノ當局者ノ會合ナドノアリマス場合ニハ、屢々問題ニ上ルノデアリマスカレドモ、事實ドウモ之ヲ廢スルコトガ困難デアリマシテ、之ニ易フルニ適當ナ懲罰ガアルカト云フト、其方法ガマダ見出サレテ居ラヌノデアリマス、適用ノ上ニ付テハ、極メテ慎重ノ注意ヲ拂フ積リデアリマスガ、以前申シマシタヤウナ具合ニ、或程度マデハ規律ヲ保ツタメニ健康ヲ犧牲ニ供スルト云フコトハ免レヌノデアリマス、マア適當ナ方法ノ見出サレル迄ハ、之ヲ存スル必要ヲ認

メテ居リマス

○阿部徳三郎君 此六十條ノ一カラ十二マデヲ掲ゲテアリマスルノハ、單ニ懲罰ノ種類ヲ定メラレタケテアリマスルガ、又其種類ヲ定メルト同時ニ、刑罰ノ輕重ノ順位ヲモ定メラレタノデアリマスガ、見マシタトコロデハ初メノ方ニ書イテアルモノガ、却テ後ノ方ニ掲ゲテアルモノヨリ重イト認メラル、ヤウナモノモアルヤウデアリマスルカラ、一應其御説明ヲ請ヒマス

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 是ハ自ラ輕重ノ順位ニ依ッテ列記ヲシタ考デゴザイマスルケレドモ、實質ニ付テ見マスルト、今仰シヤッタヤウナ具合ニ、必シモ輕重ノ順位ニ依ッタトモ限リマセヌ、先ヅ立法ノ精神ハ輕重ノ順位ニ重キヲ措イタ積リデアリマス

○望月長夫君 私ハ此第六號ヲ刑事被告人及勞役場留置ノ言渡ヲ受ケタル者ニ適用スル際ニ付テ伺フ見タイノデスガ、此第三十三條ニ依レバ「刑事被告人及勞役場留置ノ言渡ヲ受ケタル者ノ衣類具ハ自辨トシ」ト云フ此字ハ、全ク刑事被告人及勞役場留置ノ言渡ヲ受ケタル者ノ義務トシテ掲ゲラレテ居ルモノト讀マヌ、即チ「衣類具ハ自辨トシ」其自辨スルコト能ハザル者ニハ之ヲ貸與ス「自辨シ能ハザルコトヲ條件トシテ之ヲ貸與スル」ツレデ三十三條ノ主意ニ依ルト、衣類具ヲ自辨スルコトハ、刑事被告人及勞役場留置ノ言渡ヲ受ケタル者ノ義務アル、而シテ之ガ自辨シ得ザル場合デナケレバ——自辨シ得ザルコトノ證セラル、場合デナケレバ貸シテ與レナイト、斯ウ云フノガ第三十三條ノ主意ノヤウニ見エルト所ガ第六十條デ之ヲ懲罰トシテ書イテ見ルト、義務デハナイデ即チ特權アル、特權ヲ中止シテコソ始メテ懲罰ニナル、義務ヲ中止シテ懲罰ニナルト云フコトハ誠ニ不可思議ナ話、全體ヤハリ煎シ詰メテ言フテ見ルト、三十三條ト二十五條ノ書方ガ不穩當デアラカラ「第五ハト第七トニ付テ同一ノ文章ガ異様ニ感ゼラル、譯合ニナッテ來ルノデ、先ノ疑問ヲ繰述スコトニハナルヤウデアリマスガ、併ナガラ第六號ニ於テ義務ヲ免除スルコトガ懲罰ニナル事實ハ、ソレハモウ懲罰ニナルニハ相違ナイケレドモ、此法律ノ書方デハ餘程變ニ思ハレルデアリマスマイカ、ドウシテモ三十三條ヲ讀ンデ見テ、次ニ六號ヲ讀ミマスレバ義務ヲ免除スル即チ懲罰アルト斯ウ言ハナケレバナラヌコトニナルト思フノデスガ、サウスルト立法上一貫シナイ主義ガ此間ニ流動シテ居ルヤウニ見エマスガ、ソレハドウ云フ説明ヲスレバ理義ガ一貫スルコトニナリマセウカ、第七ニナリマス、曩ノ何デ、稍ニ懲罰ト云フコトガ——即チ糧食自辨ノ方ニナルト、稍ニ懲罰ト云フ趣意ガ讀メマスケレドモ、第六ノ方ノ懲罰ト云フ主意ガドウモ理義ガ一貫シナイヤウニ思ヒマスガ、如何デゴザイマスガ

○花井卓藏君 阿部君ヨリ御尋ネニナリマシタ點ニ對シテ、政府委員ハ六十條一號ヨリ十二號マデ懲罰ハ、輕重ノ順序ヲ追フテ規定シテアルノデアルカト、斯ウ云フ御説明デアリマシタガ、成程一應御尤ノヤウニ聞ヘマスケレドモ、主旨ハサウデハナクシテ、全ク懲罰事項ノ目デケラ此ニ示シタルニ過ギナイノデアアルマイカ、外形ノ觀察トシタナラバ、一、二、三、四ト順ノヤウニ見エマスケレドモ、此懲罰ヲ行フニ當テハ專ラ懲罰事犯人ノ人格、平生ノ素行等ヲ參酌セナケレバナラヌデアリマスカラシテ、人ニ依テハ運動五日以内ノ停止ヨリモ賞遇ノ廢止ト云フコトヲ氣ニスルモノモアルデアラウシ、或ハ二箇

月以内ノ輕屏禁ヨリ身分ノアル人ノ獄ニ繋ガレテ居ル者、例ハ國事犯人如キナラバ、獄吏ニ叱責セラルト云フヤウナ事ヲ苦ニスル人モアルデアラウ、ツレデアリマスカラシテ、必ズシモ輕重ノ順序ヲ定メテアルモノニアラズシテ、人ニヨリ、性格ニヨリ、懲罰ノ目的ヲ達シ得ベキモノヲ擇フ主旨デアラウ、例ハ減食ヨリハ叱責ヲ苦痛ニ感ズル者ニハ叱責ヲ科スルコトカ、或ハ叱責ナドハ何トモ思ハナイト云フヤウナ者ニハ減食ヲ科スルトカ云フヤウナ主意デ、掲ゲラレタモノデアアルマイカ、若シサウ致シマスルト、望月君ノ御尋ニナッテ糧食自辨ノ停止ノ關係モ、自ラ解ケテ來ルダラウ、成程給養ノ原則カラ申シマシタナラバ、糧食自辨ノ停止ハ、寧ろ國ノ義務ニ屬スルデアルケレドモ、受クル方ノ側カラ見マスルト、監獄ノ御馳走ヨリハ、友人ノ差入レテ呉レタリ、或ハ自宅カラ運ンデ呉レタリスルトコロノ辨當ノ方ガ旨イノデアル、好キ心地ニ食ヘルノデアル、其人ノ感覺デ好イモノト思フデ居ルカラ、其ノ好イト感ゼテ居ルコロノ感覺ヲ遮キルト云フ事柄ハ、大ニ其人ニ向テ苦痛ノ感ヲ起サシメルカラ、其苦痛ハ即チ一ノ懲罰ニナルト云フノデ、即チ之ガ一ノ懲罰ニナルト云フ意味デ科スルノデアッテ、餘リ重イ意味デ、糧食自辨停止ナドト云フ規定ヲ掲ゲラレタモノデアナイノデアアルマセヌカ、若シ其通りノ趣意デゴザイマシタナラバ、阿部君ノ問ハレマスル趣意ノ後ロニ隱レテ居ル疑問モ、望月君ノ問ハレマシタ上下著ケテノ議論モ、自然ニ解ケテ來ハシマセヌカト思ヒマス、其通りデアゴザイマセヌカ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 此疑義ニ就キマシテハ、先刻阿部君ノ御問ニ對シテ、私ガ御答ヲシマシタ際ニモ、自カラ輕重ニ依ッテ定メテアルト云フコトヲ申上ゲタノデ、必ズシモ輕重ノ順位ニ悉ク合フタモノト云フモノデアナイノデアリマス、其事ハ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙望月サンノ第六號ノコトニ付テ御質問ハ、御尤ト考ヘマスガ、今花井君カラ仰シヤッタヤウナ工合ニ、目的トスルトコロハ本人ニ於ケル苦痛ノ點ニアルノデアリマスカラ、例ハ之ヲ權利ニ解釋シマシテモ、義務ニ解釋致シマシテモ、實際本人ガソレニ依テ苦痛ヲ感ズルト言ヘバ、懲罰ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、サウ云フコトニ御認願ヒタイト思ヒマスガ、一面自辨ト云フコトハ義務トモ見エマセウケレドモ、又之ヲ權利ト解スルコトモ出來ルノデアリマシテ、要スルニ本人ノ受クル苦痛ノ點ヲ目的トシテ規定シタモノト御承知ヲ願ヒタウゴザイマス

○阿部徳三郎君 チョット奇問ノヤウデアリマスガ、此一號ニアル叱責ト云フコトノ法律上ノ意義ハ、ドウ云フモノデアルカ、ツレヲ一ツ伺ヒタイ、ツレカラ次ニ第二號ノ方デスガ、受罰者ニハ一體就業セシムルト云フノガ原則ノヤウニナッテ居ルノデ、狀況ニ依ッテハ就業セシムルコトヲ得ト云フノデアリマスカラ、就業ヲサセルコトガ原則ト見ナケレバナラヌ、然ルニ重屏禁ニ在テハ「仍ホ罰室ヲ暗クシ臥具ヲ禁ズ」トアッテ重屏禁ノ罰ニ處セラレタ者ハ暗室ノ中ニ居ルノデスガ、暗室ノ中ニ居テモ仍ホ就業セシムルト云フ原則ノ適用ガ出來ルノデアリマスガ、ツレヲ一ツ……

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 此第一號ノ叱責ト申シマスノハ、平タク申シマスルト叱ル處分デアリマシテ、チョット懲罰トシテハ妙ナヤウニ思ハレマスケレドモ、之ヲ受ケル方カラ申シマスルト、隨分効果——利キ目ノアルコトデアリマス、既ニ外國ノ例ナドニ依テ見ルト、刑罰トシテモ、叱責ガアルト云フ位ニナッテ居ルノデ、尙施行細則ノ上デ其形式ナドモ定メマスノデ、實際叱リノ處分ヲ受ケルト云フコトハ、一ノ懲罰ニナル

ト考ヘマス、ツレカラ末項ノ暗室ノ場合ニ作業ヲ課スルコトが出来ルカト云フコトデゴザイ
マス、此暗クスト云フコトハ、今日御覽ニナリマス、監獄ノ暗室ナドトハ、全ク趣ヲ
異ニスル考デ、今日ノ所謂暗室ニ於キマシテハ、仕事ヲシヤウト思フモ出来ナイノデ、全
ク光線が通テ居ラヌノデスカラ、併シ將來ニ於ケル此罰室ヲ暗クスルコト云フコトハ、
サウ絕對ニ暗黒ニスルト云フコトデハナイノデアリマシテ、ヤハリ薄明リヲ通ゼシムルヤウニ
スル考デアリマスカラ、或ル仕事ニ依リマシテハ、課スル場合モ出来ヤウト思フテ居リマ
ス

○望月長夫君 私ガ此第六十條ノ第六號ニ對スル疑問ハ、事實ヨリモ要スルニ曩キ
ノ第三十三條、第三十四條、第三十五條ト云フモノ、立法ノ形式ガ宜シクナイ、即チ
其ク出来テ居ラヌト云フ方ノ趣意カラ來テ居ル質問デアアルノデス、併ナガラ政府委員ノ
説明ニ依テ見マスレバ、至ミナリニ實施ガ出来ヤウカト思ヒマス、唯今ノ場合餘儀ナク
六十條ハ此盡賛成ヲ致シマス

○小河源一君 私モ同様デアリマス、政府ハ成ルベク健康ヲ害シナイヤウニ注意スル
ト云フコトデアリマスカラ、至大ノ注意ヲ拂ハレテ、成ルベク人身ニ害ヲ及ボサヌモノト認
メ、且ツ減食ナドト云フコトハ、或方法ヲ發見スルマデト云フデアリマスカラ、追々方法
ヲ發見セラレテ、斯カル惡懲戒ハ近キ將來ニ取ツテ除ケラル、モノデアルト云フ光明ヲ、開
キマシタカラ、之ヲ贊成シテ置キマス

○委員長(谷澤龍藏君) 六十條原案ノ通り可決致シマス、六十一條

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 六十一條原案ノ通り可決致シマス、六十二條

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 六十二條原案ノ通り可決シマス——第十二章

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 第十二章表題原案ノ通り可決シマス、第六十三條

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 第六十三條原案ノ通り可決シマス——六十四條

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 六十四條原案ノ通り可決シマス、六十五條

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 六十五條原案ノ通り可決シマス——六十六條

○花井卓藏君 六十六條及六十七條ノ規定ハ、少シク監獄法ニ書クコトガ僭越デハ
ナイカト私ハ思フテ居ル、全ク是ハ刑事法ノ地圖ニ編ムベキ性質ノモノデアルト信ジテ居
ル、假出獄ノ規定ハ刑法ニ掲ゲラレテ、其働キモ亦刑法ニ掲ゲラレテアル、假出獄ノ恩
典ニ浴シタル以上ハ、最早監獄トハ因縁ノナイ譯ニナルデアッテ、假出獄中ノ犯人ハ、
監獄ノ延長シタル趣意ノモノデモ、何デモナイ關係ノモノデアリマスカラ、本法ニ入ルヘキ
モノニアラズト信スル、尤モ假出獄ヲ取消サレテ再ビ入ッテ來タ者ハ、新ニ入監スルコトニ
ナルノデスカラ、之ハ本法ニ入レテモヨイノデス、ケレドモ六十六條六十七條ハ少シク監獄
法ガ刑法ノ範圍ヲ侵シテ居ルヤウナ心持ガスルノデス、殊ニ六十七條ノ如キハ、刑法ニ

書イテアル假出獄取締規則ト云フモノニ、該當セシムル趣意デアラウト思ヒマスガ、刑法
ニ書イテアル假出獄取締規則ト云フモノハ、監獄法ノ中デ作テ置フト云フ趣意デハ、
髓ニ立法者ハ考ヘテ居ラナカッタと思フ、ツレ等ノ點カラ考ヘマスレバ、少シク穩當ヲ缺
クト思ヒマスケレドモ、併シ刑法ヲ早ク施行シヤウト云フ場合デアリマスカラ、他日六十
六條、六十七條ト云フモノハ特別法ヲ制定セラレテ、監獄法トハ縁ヲ切ラシメラル、ヤ
ウニ致シテ貴ヒタイト云フ希望ヲ申シテ、暫ク假リニ當分ノ内、一時贊成ヲシテ置キマス
○望月長夫君 是ハ唯體メテ置クデデアリマスガ、新刑法ノ第二十九條ノ第四項、
即チ假出獄取締規則ニ違背シタルトキニ、言葉ヲ換ヘテ申サバ、假出獄ノ處分ヲ取消
サルベキ第二十九條第四號ノ違反ハ、本條ノ第一ヨリ第三マデノ場合以外ハナイ、
即チ假出獄取締規則ニ違背シタルトシテ假出獄ヲ取消サルベキ場合ハ、本條ニ規定サ
レテアルダケノ事柄デアアル、此以外ハナイ、斯ウ解釋シテ差支ナイ、即チ是ガ假出獄取
締規則ト云フモノニ相當スルデアルト解釋シテ置イテ、ツレ宜イノデアリマスガ
○政府委員(小山溫君) 其通りデアゴザイマス、二十九條ノ取締規則ヲ書イタノデス
○委員長(谷澤龍藏君) 六十六條ハ原案ノ通り可決致シマス——六十七條

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 六十七條モ原案ノ通り可決致シマス——六十八條

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 原案ノ通り可決致シマス——六十九條

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 原案ノ通り可決致シマス——七十條

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 原案ノ通り可決致シマス——第十三章死亡

(異議ナシト呼フ者アリ)

○花井卓藏君 死亡ト云フ標題ハ面白クナイノデアリマス、適當ナル字ガアレバ贊成ヲ
シタイノデアリマスケレドモ、適當ナル字ガアリマセヌカラ、唯不都合ノ文字デアルト云フコ
トヲ表明シテ置キマス

○委員長(谷澤龍藏君) 第十三章死亡ト云フハ原案ノ通り可決致シマス、——
第七十一條

(異議ナシト呼フ者アリ)

○小河源一君 此死刑ノ執行ハ、大祭日及一月一日二日ト、ツレカラ十二月三十
一日トハ執行セヌト云フコトニナッテ居ル、總テ日曜日ハ我國ニ於テモ安息日トシテ、一
般ニ貴ブ日トナッテ居リマスガ、此日曜日ニ死刑執行セヌト云フコトニシテハ何カ差支ガ
アルノデアリマスガ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 別段日曜日ニ執行シテ差支ノアルト云フコ
トハアルマイト思ヒマスガ、此前父母ノ訃ト云フコトニ付テ御質問ノ時分、政府委員カ
ラ御答シタ工合ニ、實際日曜日ニ行フト云フコトハナイノデアリマスルシ、又司法大臣ガ
命令ヲ下シテカラ三日内ニ於テ行フ、其間ニ日曜日ヲ避ケルト云フコトハ、實際上得ラ
ル、ノデアリマスカラ、無論日曜日ニ執行シナクテハ差支ヘルト云フコトハナイノデアリマス
ト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ司法大臣ガ指揮ヲシマシテ、其最終ノ日ガ此大祭日

若クハ一月一日トカニ一日ト云フコトニ當ルトキニハ、若シ此法律が無カッタラバ、最終ノ日ニ執行スベキモノアルケレドモ、此法律ガアル爲メニ繰上ゲテ、前ノ日ニテモ執行スルコトニナルノデアリマスガ、此執行シナイト云フコトハ日數ニ算ヘズシテ、翌日ニ延ハスコトガ出來ルノデアリマスガ

○政府委員(法學博士小河滋次郎君) 執行最終日若シ此七十一條二項ノ日ニ該當致シマシタキハ、之ヲ延バシテ翌日ニスルコトガ出來ルデアラウト思ヒマス

○小河源一君 私ハ至極其點ニ付テハ満足シマシタガ、日曜日ニハ多クハ執行ヲセズ積リデアルト云フコトデ融和ガ付キマスガ、私ノ希望トシマシタハ、之ニ日曜日ト云フコトヲ入レテ置キタイノデアリマス、日曜日ト云フコトヲ入レテ置キマスレバ、又最終ノ日ガ日曜日ニ當レバ、一日繰延バスコトガ出來ルノデアリマス、併シ是ガタメニ訂正ヲ持出スノハ御迷惑ヲ感ズルト思ヒマスガ、訂正ハ持出シマセウガ、日曜日ハ成ルベクセウニ希望致シマス

○花井卓藏君 死刑ノ問題デアリマスカラシテ、一言御許ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、小河君ヨリ日曜日ハ死刑ヲ執行シナイヤウニト云フ御注意ガゴザイマシテ、其旨ヲ政府委員ガ諒セラレタノデアリマス、私ノ理想トシテハ、日曜日バカリデハナイ、一年三百六十五日死刑ヲ執行シタクナイ論デアル、殊ニ最モ大ニ喜ブベキハ、監獄ノ當局者ハ實ニ其大多數ト云フモノガ、新刑法ノ死刑ヲ認メテ居ルコトヲ否認シテ、甚ダシキニ至リテハ死刑ノ刑場ヲ無クシタル監獄署モ、有名ナル所ニ幾ツモアル、想フニ局ニ當テ、死刑ト云フモノヲ刑罰ノ一ツトスルト云フコトハ、理義ニ副ハズ、又實際上實益ナキコトヲ自覺セラレタ結果デアラウト考ヘル、監獄理事者ノ死刑廢止ノ説ハ、寧ロ刑法家トシテハ傾聴ニ値スル數年ノ後ニハ死刑廢止ト云フ案ノ勝利ヲ得ルコトハ、確ニ私ハアルデアラウト思フテ喜ンデ居ルノデアリマス、此點タケハ實ニ安心ヲスルノデアル、小河君ノ御注意ハ日曜日ハ執行シナイヤウニト云フコトデゴザイマスガ、監獄理事者ハ日曜日ハ措イテ、恐ラク毎日シナイヤウニト云フ考ヲ持ッテ居リマスカラシテ、苟モ斯ウ云フ日ニシテハ寒イデアラウ、斯ウ云フ日ニシテハ暑イデアラウト云フヤウナ場合デモ、死刑ノ執行ト云フコトハ、今日ノ監獄理事者ハ斷ジテ致シマセウ、唯リ裁判官バカリ死刑ノ執行ヲシタカル、監獄ハ避ケテ居ルカラ、日曜日ト云フ心配ハ全ク要ラナイ、司獄官ニ深ク同情ヲ表シテ、而シテ死刑執行ノ一日モ速ニ無クナルニ至ランコトヲ希望スル爲メニ一言スルノデアリマス、此場合ドウカ政府ハ、死刑ヲ廢スルト云フコトニ就テ十分ノ御詮議ヲ煩シタイモデアリマス

○委員長(谷澤龍藏君) 七十一條ハ原案ノ通り可決致シマス——七十二條

○小河源一君 チョット御尋致シテ置キマスガ、七十二條デ「死刑ヲ執行スルトキハ絞首ノ後死相ヲ檢シ仍ホ五分時ヲ經ルニ非サレハ絞繩ヲ解クコトヲ得ス」トアリマスガ、此手續ヲシマシテ、而シテ後ニ蘇生シタ者ガアッタラバ如何ニスルノデアリマセウカ

○政府委員(小山溫君) ソレハ刑法ノ解釋ニナルデアラウト思ヒマスガ、ヤハリモウ一遍手續ヲ繰返スコトニナリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 七十二條ハ原案ノ通り可決致シマス——七十三條

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 七十三條モ原案ノ通り可決致シマス——七十四條

○望月長夫君 七十四條ト七十五條ノ關係ヲ一ツ伺テ置キタイノデスガ、七十四條ハ「何時ニテモ之ヲ交付スルコトヲ得」七十五條デハ「命令ノ定ムルコロニ依リ解剖ノ爲メ病院學校又ハ其他ノ公務所ニ之ヲ送付スルコトヲ得」此規定ハドウ解釋スレバ宜イノデアリマセウカ、即チ七十二條ニ依テ死亡者ノ親族故舊ガ死體ノ交付ヲ願フ場合ニハ、必ズ之ニヤラナケレバナラナイ、斯ウ云フコトデ其場合ニ第七十五條ヲ働カサナイノデアリマセウカ、或ハ又其場合ニ於テモ勿論、モウ一ツ問題ガ挿リマシテ、死亡スル者ガ死後遺體ヲ解剖セラレルコトヲ承諾シテ居タト云フ問題ガ挿リマセウカ、先ヅソレヲ除キマシテ、死亡者ガ承諾セズシテ死シタコロデ、親族又ハ故舊ガ遺骸ヲ貰ヒニ來タ、ソレデモ第七十五條ニ依ッテ、公務所ニ送付シテ必ズ解剖セシメ、病院若クハ學校公務所ナドニ送付シテ遺族ニヤラヌ、斯ウ云フ趣意ニナルノデアリマセウカ、其處ハドウ云フコトニナリマスガ

○政府委員(小山溫君) 此七十五條ニ命令ノ定ムルコロニ依リト書キマシタノハ、命令ヲ定ムル積リデゴザイマスガ、詰リ此命令ト云フモノハ、引取人ガゴザイマセウタカ、本人ガ生存中解剖シテハナラヌト言ヒマセウタカ、條件ヲ附スル積リデアリマス、ソレデ引取人ガ來マセウバ無論送付シテヤリマス

○望月長夫君 此七十四條、七十五條ハ對立シテ書カレテ居ッテハ、ドウモ其意味ガ分ラヌ、若シ命令ニ於テ死體ヲ之ヲ者アルモ、ヤハリ解剖ノ爲メニ病院學校、又ハ公務所ニヤルコトガ出來ルト云フ命令ヲ拵ヘテモ、必ズシモ此監獄法ニ違反シタ法律ニハナラヌヤウニ書イテアルヤウニ見エマスガ、是ハヤハリ第七十四條ガ原則デ、死亡者ノ親族故舊ガ貰ヒニ來タラ必ズ遺ルノデアル、其以外ニ於テ命令ガ定メテ解剖スルコトガ出來ルト斯ウ云フ風ニ解釋ガ出來ルデアリマセウカ

○政府委員(小山溫君) 其積リデゴザイマスガ、唯此七十四條ニモ得ト云フコトガゴザイマスガ、故舊ト云フ方ニハ、餘程實驗上怪シイ者ガゴザイマスガ、ソレデ此處ニ得ト云フコトヲ書イテアリマス、斯ウシナケレバナラヌト云フコトニ致シマスルト、親族ガ遠イ所ニ居ッテ、其引取人ガ來ルデアラウト云フコトヲ豫想シテ居ル時ニ、故舊ガ來ルト云フコトガアル、ソレデ實際ニ於テハ其持ッテ居ル金ガ欲シイトカ、着物が欲シイトカ云フコトガ實驗上往々ゴザイマスノデ、サウニ云フモノヲ避ケルタメニ得ト書キマシタノデ、相當ノ者ガ取リニ參リマスレバ、遺ル積リデゴザイマス、サウ云フ風ニ御承知ヲ願ヒマス、七十五條ガ仰シヤッタ通りノ意味ニ讀メルノデアリマス

○磯部四郎君 詰リ斯ウ云フコトヲ明言シテ貰ヒタイ、命令ノ定ムル所ト云フコトヲ今望月君ノ恐レルヤウニ、親族故舊ヨリシテ、遺體ノ交付ヲ求ムル者ガアッテモ、ソレニモ、拘ラズ公務所ニ之ヲ送付スルト云フヤウナコトハナイト云フコトノ言明ヲ得レバ、吾々共ハ満足スルノデアリマス

○政府委員(小山溫君) ソレハ曩ニ申シマシタト存ジマスガ、現ニ此處ニ未成案トシテ書イテアルノニモ、或ル時間内ニ引取人ガ來ナイ、ソレカラ解剖シテハナラナイト言ハナイ、斯ウ云フ條件ヲ附ケテ置キマス

○望月長夫君 モウ少シ、是ヲ終リテスカラ伺フテモ宜カラウト思ヒマスガ、此處ニ死体又ハ遺骨ヲ請フ者ト書イテアル、第五十七條ニ死亡者ノ遺留物ハ、其前條ニ依テハ相續人家族、又ハ親族ニ交付スルコト云フ字ガアル、所ガ七十四條ニ死体又ハ遺骨ト云フモノハ、監獄署ノ御願ヲシテ御許可ヲ得ナケレバ貰ヘナイト、斯ウ云フ文章ニ書ケテ居ル、ソレデ學者ノ議論ハイロ／＼ニナリマセウガ、死体ト云フモノハ無論財物デハナイカラ、所有權ト云フモノハ誰ニアルトモ言ハレヌコトニナルカモ知レマセヌ、併シ此立法ノ趣意ト囚人ハ——在監者ハ要スルニ行刑ノ目的デ行方上ニ於テ、監獄署ニ置イテアルダケノ話デアル、行刑ノ目的トハナラナイ、死骸ト云フモノニナツテシマツタ以後ハ、此法律ノ趣意デハドウ云フモノニナルデアリマスガ、國ノ所有ト云フコトモオカシイ、所有ト云フコトハ、所有ト云フ言葉ガ云ヘヌト云フコトニナル、國ノ管理ノ中ニ這入ツテシマフト云フコトノ御趣意デアリマスガ、ドウ云フコトニ此死體ト云フモノヲ見テ居ラルノデスカ

○政府委員(小山溫君) 實ハ此死亡者、殊ニ刑死者ノ如キニ至リマシテハ、死刑ヲ執行致シマシタモノニハ、所有ト云フコトハ語弊ガゴザイマスガ、サウ云フ說モナイデハゴザイマセヌガ、實ハ此七十四條ハサウ云フ風ノ側テ書キマセヌデ、監獄カラ申シマス墓地下ト云フモノガ擴ガテ實ハ困ノデゴザイマシテ、成クベクハ引取ツテ貰ヒタイ、サウ云フ趣意デ之ニ附ケテ置ク積リデアリマス

○阿部德三郎君 此死體解剖ノコトニ付イテデスカ、貴族院ニ於ケルコロノ政府委員ノ御說明ニ依ルト、本人ガ解剖ヲサセルコトヲ望マナイ場合ニ於テハ、解剖ニ附サナイモノ、如ク御答辯ニナツテ居ルヤウデアリマス、又或場合ニ於テハ、今日ノ學術研究ヤ何カノタメニ、大學病院ナドニ於テハ非常ニ死體ガ不足シテ困ツテ居ルカラ、ソレデ此規定ヲ設ケタト云フガ如キ御答辯ニモナツテ居ルヤウデアリマスガ、サウ致シマス本人ガ希望ヲ致サヌ場合ニ於テモ、尙解剖ノタメニ下付スルコト云フコトガ、本旨ノ如ク受取レルノデアリマス、一體何レガ御趣意デアルカ、此際明カニ御說明ヲ願ヒタイ

○政府委員(小山溫君) 言葉ノ工合デチヨット妙ニナルヤウデアリマスガ、私ガ今此處デ申上ゲタ通りノコトヲ、貴族院デモ申シテ居リマス、本人ガ死體ヲ解剖シテ貰ヒタクナイト云フハナイトキ、即チ本人ガ解剖シテ呉レト云フコトニ限ルト云フ意味デハナイ、本人ガ死體ヲ解剖シテハナラヌト云フ時ノ意味、チヨット其處ノコロガ違ヒマス、ト申シマスルノハ死刑ニ處セラレタル者ハ、死亡ヲ豫想シテ居ル病死者ノ如キ、例ヘバモウ死ヌダラウト思ヒマシテモ、ソレニ對シテ解剖スルガドウダト云フテ聽クノハ、實ニ慘酷デアラウト思フ、ソレデソレヲ確カメルト云フコトガチヨット出來兼ネマス、併ナガラ當人ガ死亡ヲ豫期シマシタトキノ如キハ、私ハ解剖シテ欲シクナイト、斯ウ申シマスレバソレハ解剖ハ致シマセヌ、斯ウ云フコトニ御了解ヲ願ヒマス

○小河源一君 先キノ政府委員ノ御答辯ノ趣意ナレバ、私ハ異議ハ無イノデスカ、唯今ノ政府委員ノ御答辯ニ依テ、モウ一應此處デ說明ヲ承ツテ置キタイコトガアル、初メノ御答辯デハ本人ガ解剖シテ呉レト云フ場合デナカタナラバ、解剖ハセヌ積リデアルト云フ御答デアッタ、唯今ノ御答辯デハ本人ガ解剖シテ呉レト云フハナクテモ、默ツテ居タナラバ即チ勝手ニ解剖スルコトガ出來ルモノデアアル、又本人ニ解剖スルコト云フコトヲ相談デ聽クト云フコトハ、慘酷デアアルカラソレハ言ハナイノデアルト、斯ウ云フヤウニ承リマシタ

ガ、サウスルト本人ハ、腹ノ中ニハ解剖シテ貰フアハナラヌト云フヤウナ考ガアツテモ、亦解剖セラル、コトヲ知ツテ居タナラバ、解剖ハシテ呉レルナト云フコトヲ言フベキ答デアッタラウガ、ソレヲ默ツテ死シマツタ、其者ニ向ツテ勝手ニ解剖ヲ行フコトハ如何ナル道理ニ基クモノデアリマセウカ、或ハ是モ亦行刑ノ一ツデアルト云ハレカモ知レヌガ、斯様ナ行刑ハアルベキ答デアナイ——死屍ヲ鞭ツト云フヤウナ行刑ガアル答ハナイ、人間デ生キテ居ル間ニ罰セラル、ハ宜シイガ、死骸マ罰セラル、答ハナイ、然ルニ一般人民ナラバ勝手ニ死體ニ左様ノコトヲセラレナイノデアアルノニ、受刑者デアルガ爲ニ死屍マデモ鞭タレ、又之ヲ鞭タナケレバナラヌト云フノハ、如何ナル道理ニ基クノデアリマスガ

○政府委員(小山溫君) 私ノ御答致シマシタノハ前後同ジ積リデアリマスガ、此條文ト云フモノハ無論行刑ノ積リデアリマセヌノデ、學術ノ進歩ノ爲ニ已ムヲ得ザルニ出デタモノデゴザイマシテ、實ハ是ハ監獄ノ方デハ斯ウ云フコトヲ別ニ望シテ居ル譯デハゴザイマセマカ、今前ニ阿部君ノ仰シヤイマシタヤウニ、學術研究ノ爲メニ解剖ノ必要ガアルノニ、極メテ死體ガ不足スルコト云フノデ、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、現今ノコロデモ殆ド之ト同ジ規定ニナツテ居リマスガ、是ハ内務省ノ達テ出來テ居ルノデアリマスガ、ヤハリ立法事項トスベキモノデアラウト云フノデ茲ニ拾上ゲタ譯デアリマス、決シテ行刑ノ積リデアナイノデアリマス

○小河源一君 行刑デハナイト云フコトヲ、監獄ノ方デモ好マシイコトトハ思ハヌケレドモ、學術研究ノタメニ已ムヲ得ナイノデ、此法律ニハ斯ノ如クナツタノデアアル、斯ウ云フ御說デゴザイマスガ、學術研究ノ爲ニ已ムヲ得ナイノデアルトシタナラバ、獨リ此死刑ノ執行ヲ受ケタ者バカリニ限ルコトハナイ、此者モ普通ノ人間ト死シタ以上ハ一緒デアリマス、サウスレバ一般人間デモ默ツテ居ル者ハ悉ク解剖ニ附シテ差支ナイ(笑聲起ル)ト云フコトニナラナケレバナラヌ道理デアアル、デアアルカラシテ左様ナ窮屈ナコトニ見ナクテモ、ヤハリ先キニ政府委員ガ述べラレタヤウニ、本人ノ承諾ノアッタモノダケヲ廻シテ、學術研究ノ爲メニ解剖ニ附シテ宜カラウト思フ、左様ニ見レバ私共異議ハナイ、勿論前ハ死刑ノ執行ヲ受ケタ後ニ、事ニ依ツテラ解剖シテモ宜イカ惡イカ、豫メ承諾カ不承諾カト云ウテ聞イテ置クコトハ何モ慘酷デハナイ、今執行スルガドウカト云フテ動悸ヲ打タセルノハ惡イカモ知レマセヌガ、裁判確定ノ後ニ其事ヲ聞イテ置クハ、裁判確定ノ上デアルカラ本人モ知ツテ居ルノデ、其後ト聞クノハ差支ナイ、其事ヲ聞イテ私ハドウカ左様ナコトハシテ下サルナト云ヘバ、シナイ方ガ宜シウゴザイマス、解剖シテ差支アリマセヌト云フモノハ解剖スルノデアアル、斯ウ云フコトニ此規定ヲ見ルナラバ、私ハ慘酷デモ何デモナイト思フ、サウ云フ意味ニ是ハ見ラレマスガ

○花井卓藏君 受刑者ノ屍體ノ處分ニ付テハ外國ニ於テモイロ／＼沿革ガアルノデアリマス、受刑者ノ死體ト云フモノハ、國家ガ自在ニ處分スベキモノデアルト云フ主義ヲ執ツテ居ル時代モ確カニアッタノデアリマス現ニ今日其ヤウナ主義ヲ執ツテ居ル法制モ、私ハアリハシナイカト考ヘル、ソレカラ更ニ進シテ受刑者ノ死體ニ對シテハ、國家ハ何等ノ權力ヲモ有スルモノニアラズ、從テ請フモノガアツタナラバ之ヲ還付スルト云フコトハ當然デアアル、斯ウ云フコトニ進シテ參ツタ時代デアルト私ハ考ヘル、故ニ小河君ノ問ハル、如ク、死屍ニ鞭ツト云フ七十五條ノ主旨デハ無論ゴザイマス、又死

體ハ國家ガ隨意ニ處分ガ出來ルモノデアルト云フ七十五條ノ趣意デアリマス、而シテ解剖ノタメニ病院學校ニ送附スルト云フ觀察點ハ一通リアラウト私ハ思フ、惡意デ之ヲ讀シテ見ルト、沿革ノ際ニ述ベテ置イタ如ク、受刑者ノ死體ハ國家ガ自在ニ處分シ得ルデアル、從テ解剖ノタメニ交付スルモ亦其自由デアル、斯ウ讀マレルデアアル、併ナガラ之ヲ善意ニ讀シテ見レバ、受刑者ガ學術研究ノタメニ併セテ己ノ冥福ヲ祈ルガタメニ身ヲ解剖シテ貰フテ、學術上ニ若干ノ補益ヲ與ヘベキ意志アルモノト一應ノ推測ヲ下シテ、其推測ノ下ニ七十五條ト云フモノガ制定セラレタデアアルマイカ、解剖ト云フコトハ決シテ惡イコトデハナイノデ、罪人ナラザルモノモ學術上ニ裨益ヲ與ヘンガタメニ、自ラ請ウテ解剖ヲ願フモノモアルデアリマスカラシテ、惡事ヲナス譯デアリマセヌカラ、又死屍ニ鞭ツト云フ譯デモナイデアアルカラシテ、普通人ガ解剖ヲ出願スルト同ジヤウナ意味合ニ、監獄法ノ意義ヲ取ツテ、口ニハ言ハヌガ心ニハ其趣意ニ於テ取捨ヲスルト云フ意味デアアルマイカと思フ、併ナガラ人間ノ性質ニ依リマシテ、幾ラ善意ニ解釋シタトコロデ、解剖セラレルハ全然イヤダ、火葬ニセラル、ノハイヤダ、斯ウ云フ者モ多少ハアルカラシテ、サウ云フ場合ニハ小河君ノ最後ニ言ハレタ、本人ノ意思ヲ問フタ上デスルデアアル、乃チ火葬トカ解剖トカヲ嫌ヒサウナ者デアッタラバ、ソレヲモ強ヒテ七十五條ハ履行スル趣意デハナカラウト考ヘル、果シテドウデゴザイマセウ、ソレハ手加減ノ問題デアルデアリマス

○政府委員(小山溫君) 尤モ是ハ手加減ニナリマスガ、此解剖ヲ現今致シマシタトロデ、解剖シテモ御祭ナドヲシテヤタリ何カ致シマス、解剖シテ切放シテ其儘ニシテ置クト云フデアリマセヌデ、ヤハリ完全ニ總合シテ原體ニ復スルコトヲ要スルト云フヤウナ規則ニナッテ居リマス、ヤハリ其通りニスルデアリマス

○小河源一君 チョット御尋ノ要點ハソコデヤナイ、本人ニ一應聞イテ見テ、ソレカラ本人ガ嫌ヤト云フモノハシナイ、本人ガ宜ウゴザイマスト云フ者ハスルト云フコトニ、此法文ヲ讀シテハイケナイカト云フコトヲ尋ネルデアリマス

○政府委員(小山溫君) 本人ガ嫌ヤト云フ者ハ止スト云フコトハ度々御答致シタ通りデゴザイマスガ、死刑ニ處セラレルモノハ死ノ豫想ヲ致シテ居リマスガ、其他ノ者ハ死ノ豫想ヲ致シテ居リマセヌカラシテ、ソレヲ一々聞クコトハ困難デアリマス、又特ニオ前ハ死ヌデアルト云フコトヲ聞カセルノハ、慘酷デアルト斯ウ云フ意味デ、前ニ慘酷ト云フ言葉ヲ言ヒマシタ

○小河源一君 聞キ得ラレル死刑ノ宣告ヲ受ケタ者ハ、聞キ得ラレルヤウナ餘地ノアル者ハ聞クデアリマセウ

○政府委員(小山溫君) 勿論左様デゴザイマス

○小河源一君 ソレデハ其位ニシテ置キマス

○望月長夫君 詰リ斯ウ云フ意味ニナリマセウカ、今ノ死者ノ諾否ノ方ノ問題ハ小河君ノ能ク分リマシタガ、全體私ノ考デハ死體ヲ更ニ解剖スルトカ何トカ云フ問題ハ、死屍ニ鞭ツトカ何トカ云フケレドモ既ニ生命ノ絶エタ死體ハ、恐ラバ宗教家何ト云フカ知ラヌガ、刑ヲ受ケテ居ルカ、受ケテ居ラヌカノ感覺ハアルマイ、最モ慮カルベキ點ハ、是ガタメニ親族若クハ故舊ト云フモノ、更ニ進ンデ社會ノ道義心、感情ノ上ニ及ボス損傷ガ、

此場合問題ニナルデアラウト考ヘル、死者何ヲカ知ラン、既ニ死シタ以上ハ、斬ラレテモ殺ガレテモ、遂ニ痛イト言ッタ奴ハナイ、要スルニ死者ガ承諾スルカセヌカヤカマシイ問題ニナルノデ、眞ノ親族、眞ノ善意ナル故舊ガ、死體ヲ貰ヒタイト云ッテ來タ場合ニ、之ヲ拒絕シテモ尙解剖ニ付スルカドウカ、此問題ガ一番大切ナ問題デアリマス、七十四條ハ先ニ豫氣ニサウ云フ説明ガアッタ如ク、眞ノ親族、眞ノ故舊ガ死體ヲ貰ヒタイト云ッテ來タ場合ニハ、其心ヲ破デマデモ第七十五條ヲ適用スルノデハナイ、斯ウ云フ主義ニ讀ンデ、左様ナ場合ニハ何時デモト云フ字ヲ活カシテ必ズ交付スルノデアアル、斯ウ讀ンデ差支ナイデアリマセウカ、其主義ナラバ格別異議ハ言ハヌ

○政府委員(小山溫君) 前ニモサウ云フ御答ヲシタ思ヒマスガ、「得」ト云フノハヤッデモ宜イ、ヤラヌデモ宜シイト云フノデアアルガ、故舊ノ怪シイ者ガ來マスカラ、ソレヲ拒ムニ故舊デアルトカナイトカ云フ爭ヲシテ居ルコトガ出來マセヌ、一方ニ死骸ヲ控ヘテ居リマスカラ「ソレデ」得」ト云フ字ヲ付ケタノデ、親族ガ來レバ無論ヤリマス

○花井卓藏君 解剖問題ハ理窟問題トシテ七十三條ノ火葬問題ト合セテ攻究ヲスルトキハ理窟ハ一貫スルデアラウト思フ、成程法律ガ火葬ヲ命ジテ居ルヤウナ場合モアルデスガ、死體ヲ解剖スルノガ死屍ヲ鞭ツナラバ、死體ヲ火葬ニスルノハ、死屍ヲ火葬リノ刑ニ處スルト云フ事柄ニナルデアアルカラシテ、理窟トシテハ七十三條ト同様デアアルケレドモ、人間ノ慈愛感情カラ申スト、望月君ヤ小河君ノ申サレルコトガ最モ相當デアルガ、所謂「得」ノ意味ハ左様ナ所ニ妙味ガアルデアアル、依テ「得」ヲ運用ヲ十分上手ニセラレムコトヲ私ハ望ミマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 七十四條七十五條ハ原案ノ通り決シマス——附則

○花井卓藏君 異議ナシ

○委員長(谷澤龍藏君) 末項ニ異議ハゴザイマセヌカ

○花井卓藏君 末項ハ過日此會ニ於テ演說マデ致シテ置イタ懲治ニ關スル規定ノ効力ヲ有スルト云フ問題、此懲治人ノ規定ノ力ヲ有スル期間ト云フモノハ、財政ノ都合モゴザイマセウガ、凡ソ政府ノ見ルトコロデハ、向フ幾年間ト云フ意味デゴザイマセウカ、我邦ノ法律ニハ當分ノ内効力ヲ有スルト云フノガ随分アリマスガ、何デモ裁判所構成法實施ノ際ト云フ、際ノ字ト同ジヤウナ意味ノ、十二年續イテ居ル當分ノ内デハ困ル、ソレデハ甚ダ不安心デゴザイマスカラ、此點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(小山溫君) 若シ監獄當局者トシテ御尋ニナリマセバ、一日モ早クト思フノデゴザイマスルガ、政府委員ト致シマシテハ、マダ二年四年ハ掛カルデアラウト思ヒマス

○花井卓藏君 宜シウゴザイマス、懲治人ノ場合ニ於テ、茲ニ一ツ申シテ置キマス、過日演說致シマシタ中ニ、名前ヲ漏シマシタガ、一ツ記憶ニ存スルノ裁判ヲ言渡シタル裁判所ハ京都區裁判所デアッタト記憶シマス、懲治人ノ名前ハ稻内澄之助年八十歳、是ハ京都北桑田郡神吉村某ノ畑ノ中ニアリシ西瓜ヲ五箇盜ミ、鯉ヲ二匹盜シテ、五年ノ懲治ニ付セラレタデアアル、此裁判ノ言渡ヲ爲シタル判事、之ニ立會ヒタル檢事ハ、得ヤトシテ居ルト云フ趣デゴザイマスカラシテ、御調査ヲ願ヒマス、其他ノ分ハドウモ書付ガ

分ラヌヤウニナリマシタ

○磯部四郎君 監獄法ハ是テ終リマスカラ

○委員長(谷澤龍藏君) 監獄法ハ可決致シマス——刑法施行法二十六條二十七條此間保留ニナラ居ル分ラ議ニ附シマス

○花井卓藏君 過日本員ヨリ、二十六條二十七條ノ宿題ニ供ヒラレンコトヲ望シテ書キマシタガ、研究ノ結果、二十六條ハ當然此儘ニ致シテ置イテ差支ナイト思ヒマス、第二十七條中、第一號特許法ニ掲ケラレタル罪、第二號ニ掲ケテゴザイマスル商標法ニ掲ケタル罪、第三號ノ意匠法ニ掲ケタル罪、此規定ヲ削除スルコト云フ意見ヲ提出スルノデアリマス、第二十七條ノ規定ハ、性質上ヨリ云ハバ刑法第三條ノ延長アル、刑法ノ一部ヲ爲スモノデアル、故ニ此ノ如キ特別法ノ罪ヲ、刑法第二條ノ如キ屬人主義ノ原則ヲ定メタル規定ノ下ニ、列記的ニ掲ケラレタル法制ガアルカト云フコトヲ調査致シテ見マシタコトガ、私ノ取調ベタ刑法ハ、獨逸、佛蘭西、伊太利、白耳義、和蘭、芬蘭、澳太利、諸國、露西亞、此十箇國ノ刑法デゴザイマスガ、何レニモナイ、而シテ完全無缺ニ出來上テ居ル新刑法、但シ死刑無期徒刑ヲ存置セシメシ點ニ於テ缺點ハゴザイマスルガ、ソレヲ除クノ外完全無缺ノ新刑法中ニ、第二條ニ何故ニ之ヲ掲ケナカッタモノデアルカ、施行法ヲ以テ三條ヲ延長シナケレバナラヌ位必要ナモノデアッタナラバ、刑法立案者ガ忘ルベキ管ガナイノデアル、又忘レナイノデアル、ソレガ漏レテ居ル所以ハ、畢竟スルニ刑法ノ眼中ニハ、刑法典中ニ掲ケラレタル罪ノ規定ノミヲ茲ニ現ハシタモノト見エ、斯ウ云フ主義デアル、決シテ特別法中ノ屬人主義ニ屬スベキモノヲ、刑法典ニ掲ケルト云フコトヲ忘レタノデアリマセヌ、ソレ故刑法ニハナイノデアリマス、然ルニ施行法ガ此三ツノモノヲ列記致シマシタル所以、特別法中新刑法第三條ノ規定ヲ掲ケザルガ故ニ缺點ガアルガ故ニ補ツタモノト見エマス、既ニ然ラバ本條ノ規定ハ不當デアリマセヌ、併シ特別法ノコトハ、特別法ニ書クト云フ事柄ガ正鵠ヲ得タルモノデアラウト思ヒマス、ミナラス、各國ノ立法例モ左様ニナラ居ルノデアリマスカラシテ、此處ニ此三ツノモノヲ掲ゲルト云フコトハ少シク考量スベキ點デアルマイカト思フ、然レドモ此三ツノモノガ、性質上刑法第三條ノ第一項ニ掲ケラルベキ罪ノ種類ニ屬スルモノデアッテ、主義トシテハ三條中ニ入ランケレバナラヌト云フ事柄ハ、無論ノ話シデゴザイマスカラシテ、施行法ガ茲ニ掲ゲタト云フ事柄ハ、各メ立ラスベキ程ノモノデナイノミナラス、寧ロ主義ノ關係トスルナラバ、掲ゲル事柄ガ確ニ當然デアルカモ知レヌ、斯ウ云フ感ヲ私ハ懷イテ居ルノデアリマス、然ルニ各國ノ刑法ニ此等ノ規定ハナク、刑法立案者ハ特別法ニ議ルト云フ趣意デアッタノデモゴザイマスカラシテ、此場合ニ於キマシテハ、工業所有權ニ關スル特許法、商標法、意匠法ニ關スル犯罪ノ如キモノハ姑ク削リ置キマシテ更ニ考慮ヲ費ヤスト云フ事柄ガ必要デアラウト思ヒマスカラシテ、削除ノ意見ヲ出シマス

○阿部德三郎君 花井君ノ削除ノ説ニ賛成デアリマス

○磯部四郎君 私モ削除説ニ賛成デゴザイマスガ、併シ此案ハ既ニ貴族院ヲ通過シタモノデハゴザイマスカラ、此削除スルト云フ事柄ニ付テ政府ノ御意見ヲ一應伺ヒタイシ、即チ政府ノ御意見ト云ヘバ、司法大臣ノ御意見如何ト云フコトヲ一應承ハリタイト云フ考デアリマス

○司法大臣(松田正久君) 唯今二十七條ノ第一號、二號、三號ヲ削除スルト云フ説ニ付テ、政府ノ同意ヲ致スヤ否ヤト云フノ御質問デアリマスガ、元ト此二十七條ニ入レマシタノハ、御説ノ如ク特別法ヨリ拾上ケテ此處ニ移シタノデアリマスガ、原案者トシテ是ニハソレ程深キ意味ヲ持タモノデアリマセヌ、故ニ今花井君ノ御説ノ如ク、姑ク之ヲ削リタト云フデモ、ソレ程差支ヘルト云フ考ハ持チマセヌ、併シ一旦貴族院ノ議ヲ經テ居リマスルシ、當局者トシテ無論本案ノ成立ヲ希望致マス、又本案ガ成立ヲ致サヌケレバ新刑法ノ實施モ出來ヌ譯デゴザイマスカラ、削除ノ説ニ付テ貴衆兩院ノ意見ガ一致サヘ致セバ、政府トシテハ強テ原案ヲ維持スルノ考ハ持タヌノデアリマス、之ヲ以テ御答辯ト致シマス

○磯部四郎君 ソレデヤ削除説ニ賛成デアリマス、ドウカ御決議ヲ願ヒマス

○委員長(谷澤龍藏君) ドウデス、反對ノ御意見ハアリマセヌカ——花井君ノ説ハ全會一致ト見テ宜ウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) 全會一致ト見テ第一號乃至第三號ハ削除ト決シマス、シテ、第四號乃至第六號ハ順次線上ゲルトニ致シマス、ソレカラ印紙稅法ノ處罰法ニ移リマス

○花井卓藏君 印紙犯罪處罰法ニ付テ大藏省ノ政府委員ガ參リマスルマデ、司法省ノ政府委員ニ質問致シマスガ、法律取調委員會ニ於テハ、刑法施行法案ヲ作ラル、際ニシマシテ、其第二十五條ノ二號ニ、第九十八條乃至二百條ト云フモノヲ掲ゲラレテゴザイマスガ、之ヲ此處ニ加ヘラレマシタ趣意ハ、印紙ニ關スル犯罪ハ舊刑法中ノ條文ノミヲ存在セシメタナラ運用ニハ差支ナイト云フ趣意ノ下ニ此二號ノ規定ト云フモノガ生ジタモノデアリマスカ

○政府委員(豐島直通君) 此二十五條ハ當分ノ中効力ヲ有セシムル規定デゴザイマシテ、此規定ヲ以テ何日マデモ差支ハナイトハ見テ居リマセヌノデ、先ヅ刑法施行ノタメ已ムヲ得ザル結果デアルト云フコトニ致シテ、此二十五條ニ號ヲ存シタノデ

○花井卓藏君 ソレデハ二十五條ノ全體ニ付テ御尋ネラ致シマスガ、列記ノ種類ノモノハ何カ故ニ新刑法ニ掲ケラレナカッタノデアリマセウカ、畢竟スルニ新刑法ハ特別法令ノ支配ヲ受クベキモノニ付テハ、之ヲ刑法ノ管轄ヨリ削リ去ッテ、特別法ノ管轄ニ入レルト云フ單一ノ理由ノ下ニ新刑法ハ削リ去タモノデアラウカ、然ルニ管轄ハ削リ去ラレタケレドモ、特別法ガ何日迄モ管轄ヲ定メナカッタナラバ、列記ノ犯罪ト云フモノハ無罪ニナッテシマウカラシテ、當分ノ中特別法ノ完成スル迄之ヲ補フト云フ趣意ニ於テ、二十五條ト云フモノハ組立テラレタモノト解釋シテ宜ウゴザイマスカ

○政府委員(豐島直通君) 御考ノ通りノコト、考ヘマス

○花井卓藏君 然ラバ特別法ト云フモノニ、足ラザルトコロヲ補ハシメ若クハ存在セザルモノデアッタナラバ、其特別法ヲ作ラシムル、而シテ其缺點ヲ補ハシムルト云フ主義デ、二十五條ハ出來タモノト解シテ宜ウゴザイマスカ

○政府委員(豐島直通君) 全ク其通りデゴザイマス

○花井卓藏君 若シ然リト致シマシタナラバ、第一號ニゴザイマスル二編三章五節「私

ニ軍用ノ銃砲彈藥ヲ製造シ及所有スル罪「斯ウゴザイマスノハ、如何ナル特別法ノ缺點ヲモ補ヒマシテ、充テシ得ラル、ト云フ御考デアリマスカ、其特別法ノ名ヲ承ハリタイ
○政府委員(豐島直通君) 是ハ今日ゴザイマスル銃砲火藥類取締法ヲ直シマスレバ、此運用ハ付クコト、心得マス

○花井卓藏君 質問者モ左様ニ心得テ居リマス、ツレカラ第三號ニゴザイマスル、第二編四章七節及九節、第七節ハ度量衡ヲ偽造スル罪、是ハ度量衡法ヲ改正スレバ足リルデアラウ、第九節公選ノ投票ヲ偽造スル罪、是ハ衆議院議員選舉法其他ノ選舉法ヲ改正スレバ、其足ラザル處ヲ補ヒ得ラレルデアラウ、ツレカラ第四號ニゴザイマス、二編五章二節ト云フハ、傳染豫防規則ニ關スル罪デゴザイマスガ、是モ傳染病豫防規則ナル特別法ヲ改正スレバ、補ヒガ付クト云フ御趣意デアラウト考ヘル、ツレカラ第五號ニゴザイマスル、家資分散ニ關スル罪、第三編第二章四節即チ家資分散ニ關スル罪、是モ破産法若ハ民事訴訟法等ヲ改正スレバ、補ヒガ付ク積リデアッタデアラウト考ヘル、凡ツ特別法ノ補充ニ依ツテ、改正ニ依ツテ補ヒノ付クベキ主意ト致シマシタナラバ、其特別法ノ名前ハ、私ガ唯今列記シタ位ノモノト大略心得テ宜シクゴザイマスカ
○政府委員(豐島直通君) 大略御述ベニナリマシタ 特別法ヲ改正スレバ足ルト思ヒマスガ、尙其他ニモ少シハ途ガゴザイマス積リデアリマス

○花井卓藏君 ソコデ殘シテ置キマシタ第二號ニ還ル、第二號ノ百九十八條、乃至二百條ト云フハ現行ノ印紙法ヲ改正スレバ十分デアルト云フ御考案デアッタデアアリマセカ、私ハ左様ニ記憶シテ居ル
○政府委員(豐島直通君) 唯今ノ印紙法ヲ改正スルノミデハ是ダケデハ不十分デアルト考ヘマス

○花井卓藏君 印紙法中數條ノ罰則ヲ設ケマシテ事足ルベキコト、他ノ特別法ニ付テ私ニ然リト御答ニナッタト異ナル所ガナイト考ヘマスガ、特ニ此二號ニ限ッテ印紙法ナル特別法ノアルニモ拘ハラズ、別ニ獨立ノ一法ヲ定メナケレバナラヌト云フ理由ハドコニ在ル、ツレハ大藏省ノ政府委員ニ伺ヒマス
○政府委員(菅原通敬君) 御答致シマスガ、印紙ヲ以テ納稅其他國庫ニ人民カラ納付致シマス場合ハ、印紙稅法以外ニ數多ノ場合ガアリマス、例ヘバ登錄稅デアリマス、或ハ狩獵稅、或ハ賣藥印紙、砂糖及織物ノ如キモ印紙ヲ以テスル、此ノ如ク印紙ヲ以テ納付致シマス場合ハ、印紙稅法以外ニ數多ノモノガアリマス、若シ斯ク根本ノ方ニ規定致シマスツレ等ノ各種ノ方ニ皆一様ノコトヲ掲ゲナケレバナラヌ、寧ロツレハ一括シテ單行法ニシタラ宜カラウト云フコトデ、斯ウ云フコトニナリマシタ

○花井卓藏君 本員ハ本案ヲ否決スルト云フ説ヲ提出致シマス、理由ハ過日刑法施行法ノ審議ノ際ニ、司法省ノ委員ト問答ヲ交換致シマシタ際ニ、略、現ハレテ居ル如ク、此印紙處罰法ナル法案アルガ爲メニ、刑法施行法ノ解釋上、運用ノ上ニ於テ、蟬聯ヲ生ズベキ嫌ガ出テ來ルデアアル、即チ施行法ニ二十五條ニ依ツテ、本案ノ如キモノハ舊刑法ヲ其儘ニ持續シテ、新刑法施行法前同一ノ效力ヲ有スルト云フ事柄ヲ定メテアル、ツレハ此處ニ印紙處罰法ナル法案ヲ提出シテ來ラル、ト云フハ、明カニ本案ヲ以テ刑法施行法第二十五條ノ第二號ト云フモノニ墨ヲ引クデアアル、立法ハ弄ブベキ性質ノモノデハナイノデ

アル、故ニ斯ノ如キ政府自ラ政府ヲ侮リ、立法部自ラ立法部ヲ侮リ、立法權ヲ粗末ニスルト云フ弊ヲ矯メタイト考ヘル、併ナガラ是ナクンバ以テ如何ニトモスルコトガ出來ナイト云フデアレバ、多少ハ犧牲ニ供シテモ宜シイガ、確ニ刑法施行法二十五條第二號ノ規定ガアツテ、少シモ困ラナイ、此儘立派ニ行ハレルデアリマスカラ、斯様ナル人ヲ馬鹿ニシタ法案ハ迎ヘタクナイカラ、本案ハ直チニ否決セラレンコトヲ望ミマス

○磯部四郎君 私モ花井君カラ續々理ヲ御述ベニナリマシタガ、獨リ是ノミヲ單行法ニシテサウシテ未ダ漸ク今日委員會ヲ終ラ施行法ノ如キモノ、中ニ、更ニ墨ヲ引クト云フコトハ穩カナラヌ、特ニ此内容ヲ見テモ、或ハ裁判ヲ以テ行政處分云々ト云フガ如キ、ドウ致シテモ是デハ甚ダ不完全ト考ヘマスカラ、此案ニ付テハ即チ大體ハ否決ト云フ事柄ニ贊成ヲ致シマス

○政府委員(豐島直通君) 此刑法施行法第二十五條第二號ト、印紙犯罪處罰法案トノ關係ニ付キマシテハ、過日モ申上ゲマシタ通り、兩案共併立シテ行クコトガ出來マスノデ、唯施行ニ於テハ併立ハ出來ナイ、ツレハ刑法施行法以後コノ印紙犯罪處罰法ト云フモノヲ施行スルコトニナツテ來ル考テ居リマス、ツレハヤハリ此刑法施行法ノ二十五條ト云フモノ、趣意ヲ酌シテ、此法案ガ出來テ居リマスノデスカラ、決シテ此二十五條ノ二號ヲ廢止シテシマフ考デアリマセヌ、二十五條ノ二號ハ當分ノ内無理ニ一時的ノ融通ヲ付ケタト云フニ過ギマセヌノデゴザイマスカラ、ドウシテモ印紙犯罪處罰法案ノ如キモノ、出來ルコトヲ希望シテ居ル規定ニナツテ居リマス、幸デアリマスカ、不幸デアリマスカ、印紙犯罪處罰法案ト云フモノガ是ヨリ先ツテ一番早く出來マシタ、ツレガタメニドウモ餘リ早過ギタト云フコトヲ以テ、此法案ヲ否決スルト云フコトハ甚ダ遺憾ニ思ヒマシテ、且刑法施行法ノ趣意ニモ背クコトニナリハシナイカト考ヘマス、ドウカ十分御熟考ノ上ニ熟考直シテ願ヒマス

○花井卓藏君 私ハ過日ノ委員會ニ於キマシテハ、豐島君ノ質問ニ對セラル、答辯ヲ實ハ救ウト云ツテハ語弊ガアリマスケレドモ、辯護スル趣意ニ於テ、豐島君ガ唯今申サレル事柄ヲ申シテ一方ノ血路ヲ開イテ上ゲタデアアル、乃チ万一是ガ可決シタ折ニハ吾々ノ面目ハ立タヌデアアル、立タナイケレドモ、斯ル場合ニ於テハ所謂條文ノ爭デナクシテ、學理論後ノモノガ前ノモノヲ消ス、之デ拔ケラレタラ如何デアアルカト云フコトヲ隱約ノ中ニ諷シタラ、ツレハ楯ニ取ツテ今日ハ御答辯ニナツテ居リマスガ、ツレハ宜クナイ、日本ノ在來ノ立法ノ形式ヲ先ツ詮議シテ御覽ナサイ、後ノ法律ガ前ノ法律ヲ吞ムト云フ、原則ノ應用ノ出來テ居ルモノガ幾ラカアリマスガ、大部分ハヤハリ法律ノ規定ニ依ツテ、前ノモノヲ吞ミ、前ノモノヲ殺スト云フコトニシテアル、即チ論ヨリ證據今日盛ニ爭ハレタ監獄法ヲ見賜ヘ、前ノ監獄法ガ生キテ居ルベキ、答ガナイ原則ノ上ニ於テ後ノ監獄法ガ前ノ監獄法ヲ吞ムニ相違ナイガ、末文ニ「監獄則ハ之ヲ廢止ス」ト書イテアル、ツレハ刑法施行法ヲ御覽ナサイ、ヤハリ末文ニ「刑法附則、其他舊刑法施行ノ爲メ公布シタル法令ハ之ヲ廢止ス」ト書イテアル、刑法施行法ガ行ハレテ、古ノ刑法、古ノ刑法施行ノ爲ニ發布セラレタル法令ガ、依然トシテ力ヲ有スベキ答ハナイ、後ノ刑法施行法ハ前ニ發布セラレタル法令ヲ吞ムコトハ極マデ居ル、更ニ刑法ヲ御覽ナサイ、新刑法ガ行ハレテ舊刑法ノ存在スル答ハナイ、新シイ法律ハ前ノ法律ヲ吞ムニ極マデ居ルガ、最後ノ

附則ニハ舊刑法ハ之ヲ廢スト書イテアル、畢竟スルニ之ハ僻論ト申スモノデアル、無政府委員ハ御迷惑アラウガ、遺憾ナガラ本案ヲ通過シタナラバ、何ト國民ニ申譯ヲシテ宜シイカ、萬々一通過シタナラバ、仕方ガナイカラ、學理ヲ逃ゲテ行カウ、法理論ヲ答ヘテ行カウト云フコトニ過日申上ダテノデス、ソレヲ其儘持テ御出ニナッタデゴザイマスカラ、是ガ學理論トシテ迎ヘラレタコロ面白クナイ、帝國ノ立法ハ帝國ノ立法ノ形式ニ依ルガ相當デアル、刑法、刑法施行法、監獄法然リト致シマスレバ、同ジモノガ二ツナガラ同時ニ議會ニ附セラレテ、同時ニ可決サレテ、同時ニ公布サレテハ、如何ニ辯護セント欲シテモ、時間ノ區別ヲスレバ格別、原則ノ應用トシテモ、時間ノ區別ヲ立テルダケノコトリシカナイ、斯様ナ惡例ヲ政府ガ爲スコトハ甚ダ宜クナイ、殊ニ新刑法ヲ行ウニ當テ、凡ソ新刑法施行ニ必用ナル取調ハ全部ツイテ居ルノデゴザイマシテ、其施行ニ必要ナル案トシテ刑法施行法ガ出テ、監獄法案ガ出テ、裁判所構成法案ガ出テ、裁判所構成法案施行條例中改正案ガ出テ、是レニ滯リナク新刑法ハ行ハル、ノデアル、本案ハ施行上決シテ必要ニアラズ、本案ノ如キハ匆忙ノ間ヲ利シテ、咄嗟ノ間、人目ニ映ゼザルヲ僥倖セント企テタル惡シキ立法デアル斯ル弊習ハ、立部議員ノ一人トシテ本員ハ默視スルコトハ出來ヌ故ニ、此案ハ有力ナル磯部君ノ贊成モゴザイマスカラ、全然廢滅ニ歸センコトヲ熱望シテ止マヌノデゴザイマス

○立川雲平君 私ハ政府委員ノ答辯モ承ハリ、花井君ノ御議論モ承ハリマシタガ、此案ヲ否決スルト云フコトニ付テハ、多少ノ調査スル事項ガアラウト思ヒマス、是ハ普通ノ委員會ト違ヒマシテ委員會中ノ特別調査會デアルカラ、必シモ一二ノ多數デドウスルト云フヨリハ成ルベク圓滿ニ總テノ人ノ意見ガ一致スルヤウニ致シタイ考デゴザイマスカラ、今日ハ之デ閉會ヲ致シマシテ、急グナラバ次ノ月曜日ノ午後委員會總會ヲ開クトシテ、午前ニモウ一應特別會ヲ開キマシテサウシテ、此事ヲ極メタイ思ヒマス、十名ノ特別委員會ノ中デ、今日ハ三名モ缺席シテ居ル場合デアリマスカラ、之ヲ全然否決スルト云フコトガ、若シ議論ニナリマスレバ、何ンデモナク濟ム話デアリマスカラ、茲ニ遺憾ナガラ決議スルヨリハ十分審議ヲシテ致シタイ思ヒマス

○花井卓藏君 私モ立川君ノ說ニハ贊成シヤウト思ヒマスガ、ソレニハ贊成シマスガ、斯ウ云フ希望カアルノデアリマス、新刑法ヲ早ク行ヒタイ熱心ノ餘リニ申スノデアリマスガ、新刑法ハ印紙犯罪處罰法案ガゴザイマセヌデモ、滯リナク行ハレマスカラ、兎ニ角今日マデ結了ニナリマシタ部分ダケハ急ヲ要スルモノデゴザイマスシ、總委員會ニ於テモ必ズ審査ノ結果ヲ待ツテ居ラル、ニ違ヒナイト思ヒマスカラ、先ツ議了ニナリマシタ分ダケヲ、總委員會ニ御報告ニナツテ、磯部委員長ハソレニ依テ總委員會ヲ開カレマシテ、其他ノ日ヲトシテ何レノ時カ暇デモゴザイマストキニ於テ、印紙犯罪處罰法案ノ審議ヲセシムルコトニシタイ思ヒマス

○政府委員(菅原通敬君) 本案ニ對シテイロ／＼御議論モ出マシタコトデアリマス、刑法ト及刑法施行法トノ關係ニ付イテハ、豐島政府委員カラ御述ガゴザイマシタカラ、別ニ私カラ申上デルコトハナイ、成程本案ハ舊刑法ノ規定ガ施行セラレマスニ付テハ、今差當リ直チニ差支ヲ起スト云フヤウナコトモナイノデアリマスケレドモ、併ナガラ今度ノ處罰法案ハ舊刑法ノ規定ヨリハ大分改善サレタルデアリマス、舊刑法ノ規定ハ申スマ

デモアリマセヌガ、印紙ニ對シテハ唯偽造變造ノ場合、再貼用ノ場合ヲ規定シタルニ過ギナイノデアリマスカラ、本案ニ付キマシテハ印紙金額ヲ表彰スベキ印章デアル、又ハ商票ニ對スル罪モ規定シテアリマス、又印紙ノ消印ヲ除去シタル場合ノ犯罪モ規定シテアリマス、然レニ此ニ點々人智ノ進ムニ從ヒマシテ、犯罪ノ虞モ多クナツテ參ルノデアリマス、殊ニ又印紙ノ金額ヲ表彰スベキ印章ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ罪スルト云フコトハ、是ハ印紙稅法ガ改正ニナツテ、ソレガ行ハレタカラ以來、始メテ其實ニ對スル處罰法デアリマスカラシテ、將來是等ノ場合ノ規定ヲ致シテ置クト云フコトハ、最も必要デアラウト思ヒマス、殊ニ一旦使ツタコロノ印紙ヲ洗ツテ、サウシテソレヲ使フツ云フヤウナ犯罪ハ、追々増加シテ來テ居ルノデアリマスカラ、之ニ應ズルトコロノ規定ヲモ特ニ御定メニナル方ガ至當デアルト考ヘテ居リマス、ドウゾ本案ハ成ルベク御贊成ヲ得マシテ、成立ニナランコトヲ希望致シマス

○花井卓藏君 除去ノ例ナドヲ先生引イテ來マシタガ、除去ノ裁判例ナドハ全體當テ居ルカドウカ分ラヌ、ソレノミナラズ印紙犯罪處罰法ノ偽造、變造ノ條文ト云フモノハ確ニ刑法施行法ニ書イテアル舊刑法ツクリト云ツテ宜シイノデアリマスカラシテ、是ハ餘リ言葉ハ能ク存ジマセヌガ、俗ニ謂フ何々稼ギト云フ立法ノ方法デアルト云フコトヲ申シテ置キマス

○政府委員(小山溫君) 今印紙犯罪處罰法ノコトハ、御延期ノ御議論ガアリマシタガ、之ニ對シテ私ハ何モ言フコトハゴザイマセヌガ、此刑法施行法ハ特別ノ調査委員會デハ御是認ニナツテ居リマスガ、マダ總會モゴザイマスカラ、刑法施行法第二十五條ノタメニ一應辨明シテ置キタイト思ヒマス、此印紙犯罪處罰法ガ出タレバトテ、刑法施行法ノ第二十五條ノ二項ト云フモノハ必要ナルモノデアツテ、此刑法施行法ノ第二十五條ノ二項ガ無駄ニ入レタノデナイト云フコトヲ申シテ置キマス、ソレハ印紙犯罪處罰法ガ御贊成ヲ得テ成立シマシタコロデ、之ヲ刑法施行法ノ日カラ施行スルト云フコトニナリマス、此刑法施行法ニ定メテアリマス新舊法ノ移行キノ規定ト云フモノハ、印紙犯罪處罰法ニハ一切規定シテゴザイマセヌカラ、此印紙犯罪處罰法ヲ獨立シテ刑法施行法ノ二十五條ノ二項、第九十八條、乃至二百條ヲ殘シテ施行スルト云フコトハ出來ヌト信ジマス、故ニ此印紙犯罪處罰法ガ提出ニナツテモ、刑法施行法第二十五條第二號ト云フモノハ、活シテ置カナケレバイカヌト思ヒマスカラ、是ダケ辯明シテ置キマス

○磯部四郎君 チョット私ハ一言シテ置キマス、此刑法施行法案、ソレカラ監獄法案、裁判所構成法中改正法律案外一件ハ兎ニ角直チニ委員會總會ニ附セラレテ、既ニ裁判官ノ年限ニ關スルコトモ、特別ノ委員會モ終ツテ居リマスカラ、是ハ急ヲ要スル法案デアリマスカラシテ、此印紙犯罪處罰法ト云フモノハ、後廻シニシテ今日迄議了シタ分ヲ、直チニ九日ノ日ニ委員會總會ニ附シタイト考ヘマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ)

○委員長(谷澤龍藏君) ソレデハ其通りニ決シマセウ

○花井卓藏君 最後ニ一言致シマスガ、今小山君カラ説明セラレマシタ理由ハ、自分ノ說ノ有力ナル理由トシテ其儘引用シテ宜キモノデアルト云フコトヲ申シテ置キマス

○委員長(谷澤龍藏君) ソレデハ唯今ノ通りニ、今日迄決シタモノハ報告スルコトニ
致シマス、本日ハ是デ散會致シマス
午後二時四十六分散會